京城日報

十九日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

◎講和提議期待
伯林市民 交換條件を提出して

アムステルダム來電＝伯林市民は獨逸が近く聯合國に對し獨逸植民地の還附と充分なる賠償金を支拂ひて白耳義の政治的獨立に同意する事こを交換條件とする講和提議を爲す可しと期待し又秘密を遵守するに於ては中立國を通じて爾餘の交戰目的を通告するの意ありと思惟し非常に激昂しつゝあり(倫敦電報)

◎獨更に講和考慮

獨逸は目下更に講和締結提議を考慮しつゝありとの風說あるが當地駐在中立國外交官の接受せる報道も右風說と適合するものあり(華盛頓電報)

◎赤衛軍クーデター斷行

レーニン赤衛隊は愈クーデターを斷行し憲法會議の議事進行を中止せしめ引續き解散を迫れり(露都電報)

◎露國軍事行動休止命令

クリレンコ新政府は露國全線に對し軍事行動を休止すべき旨命令せり(露都電報)

◎過激派紙幣發行

過激派は造幣局を掌握し紙幣を製造せしめつゝあり(露都電報)

◎王總理辭意愈切
總統の意見主戰に傾きたる爲め

王總理は馮總統の意見主戰に傾きたると段祺瑞氏が參戰事務督辦たる事に決したるに依り辭意愈々切なり(北京電報)

◎厦門危殆に陷る

廣東軍の追擊猛烈にして今や厦門は危險を告ぐるに至れり(上海電報)

◎支那の防備處置

支那政府は駐支露國公使の注意に依り東淸鐵道が露國過激派の手に歸せんとする虞あるを以て黑龍江督軍に命じ臨時防備の處置を執らしめたり(北京電報)

逝去せる羅馬尼特使 ニコラスセノボール氏

◎劉彈藥輸送請求

劉存厚氏は政府に打電し四川軍は既に彈藥を消費し盡したるを以て至急砲彈四千發、小銃彈五百萬發の送附方を請ひ彈藥到着次第重慶を攻略す可しと(上海特電)

◎兩氏任命發表さる

十八日大總統令を以つて段祺瑞氏を參戰事務督辦に段芝貴氏を陸軍總長に任命する旨發表せり(北京特電)

◎羅馬尼特使逝去

羅馬尼特使ニコラスセノボール氏は去る二日以來腎臟炎にて築地聖路加病院に入院療養中なりしが十八日午前十一時逝去せり(東京特電)

◎美濃部總裁著群

美濃部鮮銀總裁は各地視察の途十九日午後群山著同夜花月に官民を招待し盛宴を張り一泊の後二十日出發すべし(群山特電)

◎久保局長通過

久保滿鐵京城管理局長は十九日朝奉天通過大連に向へり(奉天特電)

◎支那政局紛糾
南北妥協困難

支那時局は倍々紛糾して未だ收拾の見込みなし此場合南北妥協の觀測なきにあらざるも例の南方派主張の眼目とも云ふべき舊國會の召集に對し北方の十五督軍聯合して反對し來りし結果之が對應策を講ぜんが爲總統府會議を開き舊國會反對に決せる以上

▲南北の安協は遂に希望なきものとなるの外なけん妥協成立の希望絕たれたりとせば時局は如何に發展すべきか、變幻極まりなき支那政局の豫測は甚だ困難なりと雖も總統會議に段祺瑞氏を列せしめ馮、段、王の三巨頭が鳩首凝議する所ありたるは一面に於て馮氏が段氏の主張に聽從せんとするの豫備行爲とも見られざるにあらず卽ち飽迄時局の收拾を平和的に解決せんとする王氏の態度に牽制を加へて段氏從來の主張たる南方武力討伐の議を決行せんとするにあるべきは推測するに難からず而して王氏が其任に堪へずと稱して廊上辭意を漏らしたるに見るも馮總統の立場が不卽不離の態度を以て終始するを許さゞるの形勢に到達し漸く段氏と接近融合せんとするに至れる消息を解し得べし

▲今日の時局 を導きたる紛糾や頗る錯綜せりと雖も段氏が曾て武力討伐の計畫を進めたるの當時に在つては南方派の勢力頗る振はず四川及び湖南の官軍は當時若し段氏の計畫せる大なる討伐に會せんか一溜りもなく潰滅するに至るべき狀態にありき同時に段氏の武力は段氏の勢力を一層に強大ならしめ馮氏の地位は爲めに非常の不安圈に陷るものありしを以て馮氏は腹心の李純氏に命令を與へて段氏の計畫を挫折せしめんとするの策に出でしが其結果は南軍を有利ならしめしと豫想外の成績を示し南軍の主張も一層強硬となり

▲頹勢を挽回 するに至り馮氏は餘りに藥の利き過ぎたるに今更狼狽し段氏を慰撫して一時留任に決せしめ一面天津に於ける督軍團を會して南方派を制するの計畫に出づるなど百方苦肉の策を講ぜし此天津督軍團なるものは勿論段氏を擁護せんとするものなると同時に自己の地歩を固むるに急なるが故に敢て南方派に對抗せんとするものなるは言ふ迄もなし又中間に勢力を形成せる李純氏の如きも馮氏腹心と見られ曹錕氏は此勢力を背景として北京に入りたるものなるが李純氏必ずしも馮氏と事毎に一致するものにあらざる如き態度を示し京會議を促したる如きは或は馮氏の意を體得したる上の行爲にあらざるなきか

▲安協條件 を發せんとするも南北の調和は結局不可能なるべし所謂南方派たる陸榮廷氏、孫派、岑春煊派等の主張は各相違あるも舊國會召集の一事に於ては總て一致し居れるが如し又最近岑氏は馮氏に書函を與へ舊國會は舊法律に違せざるに非法解散を受けたるに法律に基きて召集せらるべきを主張し如何なる法律に基きて召集せらるゝや南北の安協に關し重要なる地位を占むべき岑氏の意見既に此の如しとせば新國會の召集にて安協の成立は望まれざるべし而して新國會の召集に對しては舊國會の議員は皆反對し居れるが如し元老派を始め伍廷芳氏等も之に反對しつゝある模樣なれば到底實現すること叶はざるべく如何に觀測するも支那政局の將來は俄に下知すること能はず[illegible]といふを以て妥當とせん(北京)

◎臺紙附郵便切手發行

▲印刷所の多忙 臺紙附郵便切手を補助貨不足緩和策として發行する旨總督府にて決定せしは最近の事なるを以て其の多數の印刷を申込まれし總督府印刷所の多忙は大方ならず殆んど晝夜兼行にて其の進行を圖りつゝあるが多分十九日夜には現品の一部出來二十日各郵便局に發送二十一日發賣の筈にて十錢以下の補助貨不足の盛んなる折柄市場の需要は少なからざる可く或は印刷所の印刷力に不足を生ぜずやと稱されつゝあり

▲發賣局增加希望 總督府にては臺紙附郵便切手の發賣局を京城釜山大邱平壤仁川元山新義州鎭南浦群山木浦の十局に指定し北鮮を除き全鮮各地に普及し得べき計畫なるも一般の需要盛況を呈せば尙ほ右十局以外に其の發賣局增加の議あるが早くも京釜線湖南線京義線等の出殺地にては其の補助貨を要する事甚しき關係上所在郵便局の發賣を希望し居れるものありと

一般の便宜多からん
阿部鮮銀局長談

補助貨の代用たる臺紙附郵便切手の發賣に付鮮銀營業局長阿部秀太郎氏は曰く今回總督府が二十錢一枚額面五錢の臺紙附切手を發行する事は時宜を得たる處置と信ず蓋し市場に於ける十錢以上の補助貨は政府發行の小額紙幣鮮銀

▲仕拂手形 摺出により必ずしも非常の不足を感ぜざれど一般の最も困窮しつゝあるは銅貨の缺乏より來る十錢以下の小錢缺乏にして此の缺乏と不足とは五錢の臺紙附切手にて或る程度まで補はるべし又銀行は硬貨同樣と認めて其の收受に何等躊躇せず而して一般の流通も懸念を要せざるべきを以て何錢等の端錢を附せる取引、商店の金錢に盛んに用ゐらるゝに至らば自他の利便少なからざらん唯其の實際的効力は

▲發賣後の成績 を見るに然らば斷じ難きも大體より觀察して十錢以下の補助貨不足は爭ふ可からざる事實に付其の缺陷を補ふに相當の成果を擧ぐべしとの觀測は變らざるべし

▲農銀郵便切手臺紙 取次 臺紙附郵便切手の如く來る二十一日より京城外九箇所に於て之が賣捌を爲すことゝなりたる爲め補助貨の不足を緩和するのみにては一般に普及し能はざるを以て農工銀行本支店にても之が取次を爲す筈にて漢湖農工銀行にては既に其取扱めを爲せりと

◎鮮銀純益概算
九十萬圓に達せん

朝鮮銀行大正六年下半期の營業成績は良好にして當期の配當は一分を增し八分となす事に略決定せし旨は既報せしが其の締切期は十二月三十一日なるを以て其の損益勘定の精細なる數字は未だ知り難きも開く所によれば當期の純益は前期の六十二萬圓を超ゆる事二十四五萬圓の豫想にて多分八十五萬圓を計上する事は動かざるべく或は九十萬圓に達すべしと

◎今季捕鯨成績

江原道長箭港を根據とせる東洋捕鯨會社の捕鯨船は十月初旬より操業を開始したるが其漁獲高は同月中從業船二隻にて長鬚鯨一頭十一月中從業船三隻乃至四隻にて長鬚九頭十二月は十五日迄に從業船二隻にて長鬚一頭克鯨一頭合計十二頭に過ぎず成績頗る不良なるが這は鯨の浮游少なきが爲めにあらず風浪の爲め操業困難なるに由れり然れば蔚山を基地とせる捕鯨船も同樣成績良好ならず鯨肉は殆ど全部內地へ移出し居れるが其價格は十一月中旬迄は昨年に比し高値なりしも中旬以後俄かに下落したるが右は朝鮮より鯨の移入多かりし爲にて向後は市價を恢復す可しと

◎獨軍維戰線攻擊

獨軍は又復ヴエルダン戰線に對し攻擊を加へしも失敗に歸し悉く擊退せられたり(巴里電報)

◎西部戰線の積雪

西部戰線は全く膠着の狀態に入り積雪六吋に及べり(倫敦電報)

◎哈市派遣支那兵

哈爾賓不穩の爲め去る十五、十六、十七の三日間長春より哈爾賓に向ひたる吉林支那兵は千五百人にして何れも哈爾賓支那市街の傅家甸に駐屯せり(奉天電報)

◎哈爾賓邦人避難

哈爾賓の秩序全く紊れ近く暴動起るべき兆あり帝國總領事館より在留邦人に對し直ちに避難す可き旨を命じたりと傳へらる(東京電報)

◎隊署長會議

京畿道警務部にては京城府內各隊署長を召集し十八日午前午後に亘り部內事務の連絡及び一般事務の連絡打合を爲せり

◎軍司令官出發

軍司令官松川敏胤中將は初年兵教育狀況視察並に地理實查の爲め小野寺副官を隨へ十九日朝龍山出發全州に向ひたるが新義州鎭南浦等を巡視し二十七日夜歸任の豫定なりと

◎鹽澤大佐巡閱

鹽澤京畿道警務部長は永野警視以下三名を隨へ江華島管內巡閱の爲廿日午前京城發出張 來廿四日歸任の筈

◎鮮銀總裁南巡

美濃部鮮銀總裁は有賀秘書役を隨へ十九日午前八時四十分南大門驛發南鮮地方視察の途に就きたるが左記日程により二十二日午後九時歸京の豫定なり因に此間群山木浦地に於て官民の主なるものを招待し就任披露宴を張る可しと
▲十九日午後五時群山驛著一泊▲二十日午前十一時四十五分群山驛發裡里著夫れより自動車にて全州を往復し午後十時木浦著一泊▲二十一日木浦光州間往復木浦泊▲二十二日朝木浦發同日午後九時南大門驛著歸任

◉訂正 十九日朝刊「殷和好景氣高野店長談」中二月の納稅期とあるは十二月の誤植に付訂正す

□消息 大塊
永江君とは政治的提携三十八年に有之、永別には感慨人知られぬ事に有之候。
永別のけふの響よ霜の鐘

雪後遊鷗島 京城 服部江南
十里多村望裡開。吟筇携興悠哉。淡粧好是昨宵雪。新附江山楚々來。

人事消息
▲永野淸氏(慶北警務部長) 十八日後永登浦へ
▲石垣孝治氏(朝鮮銀行支店長) 十八日午後入京浦尾へ
▲新島公爲氏(松島洋行員) 十九日退京

支那の詩畫史
(三) 今關天彭氏談

前に述べた詩界の祖、李白は詩に於ては上手であつたが、而も其の特眼とするところは古詩の歌行で、絶句は王昌齡さか、岑參、高適、孟浩然などの詩人の專門とする處であつた。卽ち律は杜甫の專門家といつて好いのである。〇斯くの如く詩界では盛唐の專門家が出來て、全く詩界革新の功を奏したが、畫界の革新は些しく後れるやうな氣味があつて、漸く革新の初步を揭げた其の先頭に立つものは卽ち王維と李思訓であつた。今云ふ畫界の革命とは、今まで聖賢、道釋を主として畫いたものがこの二人よりして後日に至りては全く山水一方に傾いた事を指すのである。王維が南畫の祖、李思訓が北畫の祖と申すことは、後に至つて之を述べよう。

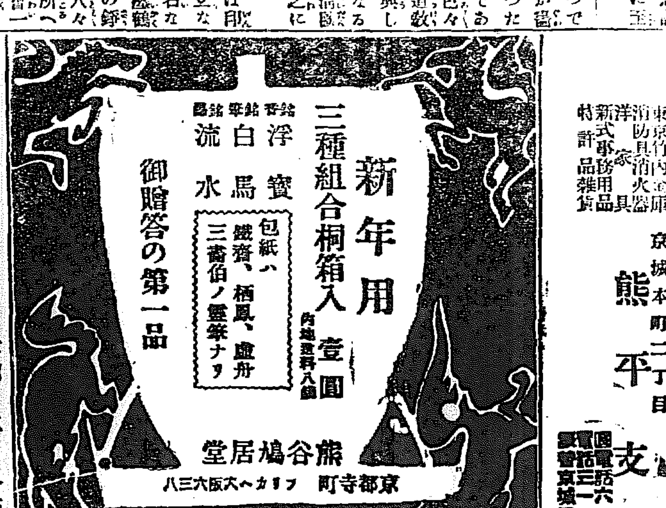
〇山水は元來畫の十三科の一つであつて、その一つたる山水畫が畫界の全體を指すかのやうになつたといふ事は大に因縁があるのである。それはかの老莊思想や色々の思想を混合した支那特殊の道敎が漢魏以來非常なる勢力で勃興して張道陵、寇謙之、晉代となると、例の竹林の七賢のやうな淸談の徒が出て、一世滔々として之に趨いたのである。

〇東晉以後六朝は、この道敎は印度の佛敎を取り入れて一層幽玄なる思想を作つて來た。彼の有名な抱朴子を著した葛稚川、また瘞鶴銘を書いた陶隱居などは、その錚々たるものである、これ等の人々は、皆深山幽谷の人里に遠い所へ隱れて靜に修行したので、社會一般に山水に對する考へ方が深刻となり、哲學的となり、たゞ山水の好い景色を見て美しいと思ふばかりでない樣になつた。また唐はその先祖が老子であると云ふところから、非常に老子を崇拜し、州縣ごとに玄々皇帝卽ち老子の廟を置くやうになつて道敎流行の絕頂となつたのである。卽ち唐時に於ける山水畫の盛んになつたことはこの時代の思想の行き方を示すものである。

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月金一圓九十錢 六ヶ月金三圓七十錢
廣告料 七字詰一行金四拾五錢
京城太平通一丁目 發行所 京城日報社
編輯兼發行人 印刷人 小川三之助
電話 編輯 一二一四番 營業 一二六〇番

繪本稗史小說
一二集愈出づ 永々お待兼の
第二集書目
繪本 道成寺鐘魔記 久米平內剛力物語 高尾丸劍之稻妻 復讐奇談ふた子山 驛路鈴與作春駒 お六櫛木曾仇討 着替浴衣團七縞 女船頭矢口之渡場 諷染劇模樣
證紙口繪正 菊四六判和製美本 毎冊約四百五十頁 繪畫彩二葉乃至三葉 繪九十個乃至百個 價毎集三拾八錢
第一集 繪本三國妖婦傳 松浦佐用姬石魂錄
第三集 松風村雨物語 淨瑠璃姬物語 繪本在原草紙 續刊
東京市本町 博文館 振替口座東京二百四十番 版九

凍らぬ水にも響ふべき
ヒコーキ印粉劑消火器 一本定價二圓
東京竹內金庫 消防具 洋家具 新式事務用品 特許品雜貨
京城本町二丁目 熊平支店 電話六三四番 二二五番 振替京城二二三番



難病根治止鍼の術 貧困者無料
永年苦心研究
金銀の鍼を體中に止め毫末の害なし特に左の諸病に特効あり
■慢性子宮病■慢性挫骨神經痛■慢性腹痛病■慢性癪つかへ病
▲止鍼は診察の上一定の料金を申受く
尙外に御夢總傳名灸により諸病治療
▲施術料一回三十錢以上一圓迄
廣島鍼灸術研究院
香川延命出張所 京城壽町二 於原金旅館 電話一一二五番

表 版 十一月一日現行

クリスマスデコレーション

●樂しいクリスマス

喜こびに輝やく贈物のかずく

内地の主なる都市に比較して基督教信者の非常に多い京城ではクリスマスは年と共に盛んになつてゆくのに敢て不思議はないやうだがクリスマスといふ語は尠くも京城あたりでは最う基督教信者の間にのみ限られた文字ではなくなつて來たサンタクロースのおぢさんがかずくのお土産物を持つて

▽各戸を訪づれる

といふ樂しい日もあと一週間ばかりとなつたこの頃本町通りを歩いて見ると明治屋、三越、などを始めとしてその他の玩具店には歳暮年玉用の贈答品を隣の方へ押籠めるやうにしてクリスマスの贈物が陳列されてゐる、基督教信者と否とを問はず多くの兒童が店の前に立つて動かないのもあれば三越明治屋などへは西洋の婦人が入れ替り立替り這入つてゐるのもあるクリスマスには贈物を調へようとするためらしい

小供ばかりでなく地方の

▽鑛山に這入つて

ゐる外人などが酒や食料品などを買出しにやつてくるのもあるさうだ、クリスマス玩具の種類としては相變らず人形類が多くその中には裸人形もあればマント着付、上着付などもある、木馬類も一圓六七十錢から三圓近くまである、舶來物で奇拔なのは螺旋仕掛の拳銃の口徑に飛行機を當てゝ引金を引くとそれが飛んで行くやうなのもあるがこれは普通の家庭には向かないので

▽値段が大分高い

かも知れない、今年は船腹不足の結果舶來の玩具の輸入が尠ない關係から内地の當業者が奮發したので内地物にも可なりいゝものがあるやうである

●受けの好い臺紙附郵便切手

汚したり破つては通用しない

總督府で出す補助貨代用たる臺紙附郵便切手は二十一日より愈々京城釜山外主要の八郵便局で賣出す事となつたが一般の

■氣受けは 大變よく、京城本町通りの大商店の如きはコレで釣り錢の苦しみを脱せらるゝと喜んでゐる、市場の流通も素より總督府の發行だから何の懸念もあらう筈はない、唯汚したり破つたりすると通用しなくなるから

■其の點を 注意しなければならぬ、序でに臺灣で今年の九月から此の臺紙附郵便切手を發賣してゐるが最初流通成績を氣遣つて臺北臺南の二地に限つてゐたが一般より非常に歡迎されるので其後發賣局所を臺中や打狗や阿猴など

■七八箇所に 殖し最初十五萬圓位しか出まいと云ふ豫想は疾に突破し既に二十萬圓を超てゐる、朝鮮も今後の成績により發賣局を殖やすかも知れぬさうだ倚ほ平北地方では既に小錢拂底のため釣錢などには普通の切手を用ゐてゐる

●木下博士の奇禍

運動好きとして知られたる大阪醫科大學教授木下博士は十七日足を挫き入院治療中（大阪特電）

●偽造官文書で一萬圓

鮮人の大詐欺

全南長城郡邑洞面福山里生れ京城武橋町朴召史方滯在中なりし孫顕周（三二）は一族なる同里孫始元の名を以て無形の土地を種に一儲けせんと大正五年九月頃京城南大門通り四丁目刻判業某に對し『長城郡守之印』『受付』『年月日第號』『孫始元』等の印章を作製させ次いで本町三丁目中島某に謄謄印村にて『證明 官吏長城 郡守金寅邑』の文字を各字別個に

▲彫製を依頼し 偏同町渡邊某には『長城郡廳之章』又同町中尾某には『長城郡邑東面長之印』等を欺罔して偽造を遂げ之れを以て同年十月末茶屋町韓聖煥方の一室にて慶北漆谷郡仁東面生れの張某（三三）に情を告げて必要なる數通の官私文書を偽造せしめ偽造の印章を捺印して恰かも郡守が土地の所有權を證明したる如く裝ひ人を介して顕周は始元なりと稱せしめ本町三丁目平佐勝藏に對し右無形の土地を擔保にして金一萬圓の金策方を申込みたるも同人は實地踏査の上現金を交付すべしと拒絶したるより差當り五十圓だけを要請して

▲遂に四十圓 を騙取し其後數回内金を要求しつゝある際遂に偽造なること發覺し目的を遂げざりし而して顕周と共謀したる京畿道漣川郡旺澄面江内里生れ京城授恩洞居住の李象儀（三一）は大正六年三月中『京城地方會社漣川出張所』なる印章を偽造し其の役會社の二字を自己の手にて法院の二字に改訂して恰かも漣川出張所が土地の登記濟みをなして交付したるが如き官文書を偽造し之れも實際になき土地を種にして詐欺を働かんとしたること發覺して檢擧され京城地方法院にて豫審取調べの上公判に附せられ顕周は懲役一年御兩名も其れ〳〵處刑されたり

●舊惡の露顯を懼れて腹を切る

舞臺は師走の夜の新町遊廓

十二月十七日午後九時頃京城新町遊廓九番地貸座敷業一二三樓事吉川とよ方の二階座敷にて遊興中短刀を以て自殺を企てたる男あり

◆急報に依り 本町警察署より係官出張取調べの結果此の者は廣島縣豊田郡木の江港生れ當時南大門通五丁目櫻家旅館止宿中の船夫濱田清（三五）と言ひ同人は午後三時頃渡邊巽及び福島吉右の三名にて登樓し濟は娼妓金丸事古谷しげを敵娼として遊興し五圓餘の散財をなし就寢せんとする際同人が懐中に白鞘の短刀を所持し居るを金丸が發見したるが

◆薄氣味惡さ より仲居濱口かつと共に短刀を預からんことを迫りたるも應せず已むなく其の旨を樓主に告げんと兩人が退席したる隙を窺ひ濟は刄渡六寸餘の鋭利なる短刀を拔き放ち臍の上部を突き長さ二寸餘を搔き切り深さ腹膜を貫きて大小腸彌出したるも死に至らず件の血刀を逆手に持ちたる儘二階の欄干段に突き立ち『俺は今腹を切つた早く殺せ』と

◆大聲に叫び 居る所に所轄署より警官驅けつけて短刀を捥ぎ取り手當を加へたる上身柄は共に總督府醫院より杉原醫師を迎へて腹を縫したる太平通り二丁目冨田屋洋服の職工なる渡邊巽が引取り直ちに總督府醫院に入院せしめ目下療養中にて生命には異狀なかるべしと而して

◆是れが原因 につき係官取調べの結果同人は目前大連にて稼業中帆船伊朝丸船長川村眞市の所有現金二百圓を窃取したる旨自白したるより見れば全く是れが犯罪の發覺を惧れて此の始末に及びたるものゝ如し偏同人は『風吹くあらしにさそわれてつゆと消行く人の生命かな、われなき後は父上の事をたのみます兄上様清より』と認めたる遺書らしきものを携へゐたり

▽京城の演藝界を顧みて

▽＝寄席藝人さへ目星しいものは來なかつた

▽内地の景氣がよかつたためか

然して寄席の方は如何にと見るとこれも又甚だ詰らないもので多少名のある藝人としては落語の助六、圓左、浪花節では二代目雲右衛門、夏菊、小奈良、講釋の伊藤痴遊に大島伯鶴、邑井貞吉の

◆◆二人會 などがあつたばかりでこれぞといつて目ぼしい者は些しも來てゐない、これを一昨年などの色物席の賑はつたのに比べると實に淋しいものである、そして芝居の如くに麥酒會社あたりの應援が無かつた結果にも因るだらうが景氣のよかつた所は些しもなかつた、寄席としては浪花節が是まで隨分大物を入れてゐるし京阪の寄席藝人とも聯絡がついてゐるが、今年は吾々の滿足するやうなものを揚げる事の出來なかつたのはどうしたわけであらうか

◆◆藝人の 方で朝鮮を白眼視したのか、それとも内地の法外な景氣のため前程に問題にしなくなつたのか、或は朝鮮にまで足を延ばすことが出來なかつたのか、原因は孰れとの二つであらうが、吾々の觀測によれば後者がその主なるものだらうと思ふ、この點は芝居も同じで滿洲邊から流浪してくる座は左程でもないが、態々内地から多少名の出た者なら勿論、田舍廻りの緞帳役者でさへこちらから口をかけるとなると隨分

◆◆高い値 を吹きかけるので興行者側では閉口するさうである、この點に就いては興行者に同情すべき價値は十分にあると思ふ、京城の寄席には浪花館に稻荷座の三軒がある、この三席がどんな風なものを多く容れるかといふと浪花館は落語を主とし次いで義太夫に浪花節といふやうにしてゐるのに反し壽館は浪花節を主として義太夫

◆◆落語を 從としてゐる稻荷座に至つては全く浪花節本位でその他には仁輪加と浪花節芝居か、その他低級の者を出でないやうだ、元來この稻荷座は浪花節壽館といふ强敵のあるのに新に建てられたのが已に不自然であつたのだ、この事は開場當時にも鳥渡言つておいたやうに思ふが唯さへ演藝物の振はない京城には三軒の寄席は確かに多きに失したのでこれで

◆◆困難だ といふのは尤も、今日では維持も至極の事といはねばならぬ、それから京城では極く一部の低級の人々を除いては浪花節は全く顧みられないやうな傾向がある、この時に方つて壽座が浪花節を以て唯一の興行法としてゐるのは不利益な事である、然らば何を上げたらいゝかといへば吾々門外漢としては直ぐにこれに答へることは出來ないけれどもこの點では

◆◆浪花館 が一年を通じて落語を容れ、義太夫を掛け、講釋を以て開場し、浪花節で客を呼んだりしてゐるのは確かに旨い興行法であるといへよう、壽館も同じ費用をかけるのならばいろ〳〵目先をかへることが必要だらうと思ふのである（たけり）

●獨逸爆彈工場爆發

ツエッペリン飛行船工場も爆破す

コペンハーゲン來電＝獨逸キール附近の飛行機爆彈製造大工場爆發し各建築物は破壞され多數の死者を出せり又フリードリッヒスハーフェンのツエッペリン飛行船工場にても爆發沙汰あり大損害を生じ多數の負傷者を出せり（倫敦電報）

●若き内地婦人投身を企つ

出奔して藥局生に＝辛き男心よ

十五日午前八時頃龍山漢江の鐵橋より身を躍らして投身せんとしたる年若き内地婦人あるを折柄通り蒐れる某朝鮮人が危ふく抱き止めて對岸始興郡永登浦面本通り新井某方に連れ行きて身柄を預けたり同女は本籍廣島縣加茂郡河上村當時京城旭町二丁目洗濯業島田獸次郎方に同居中なる三浦稻子（二一）と言ひ昨年十月頃郷里にて叔父なる某醫師方の藥局生を勤め居れる内地東大倉田久太郎と關係を結ぶに至り内地に居辛らくなりて兩名は其の後渡鮮入京し稻子は市内某醫院の藥局生として就職し倉田と同棲し居るも一向に面白きことなきのみならず倉田には本籍地に妻子ある身なることを探知したる稻子は其の後頻りに倉田に離別を迫りたるも應ぜず剩さへ辛く當らるゝより身の行末を悲觀して一思ひに投身して相果てんと企てたる譯なりしと

●時も同じ二人轢死を遂ぐ

牽いて來た牛は線路に逸出す

京畿道富川郡桂陽面古潜里梁大燮（二〇）同里金道成（二〇）の兩名は十七日午後五時頃兩人共に牛を牽きて永登浦より歸宅の途中京仁線踏切りに差懸りたる折柄進行し來れる列車に氣付かず牛のみ二頭は線路外に逸出したるも兩人は避け遂ふるに間に合はず轢死するに至れり

●地方金融組合理事から農民に

なつた大河內於莵二氏

高陽郡纛島面千里馬場里に一人の一風變つた農民が出來た名は大河內於莵二氏幼時より故郷を離れて鮮滿を股に掛けて遠くモスコーの空氣を吸ひ、且又東京火災保險會社の理事として京城支店長を勤めた事もあり地方金融組合の理事となつて江華郡に赴任した事もあつた、しかし悟る處あつて斷然辭職し過般京城府外四郡の農事組合長に推薦されしもかゝる名譽や地位は我が望む處にあらずと云つて斷然斥けて爾來趣味を持ち且つ研究を重ねたる農業に從事し實に一平民となりて實行を以て田舍の農民を啓發督勵せんとして今回馬場里に約六町歩ばかりの土地を買占めて模範的農場を造り十八日午後二時開場式を行ひ村民約八十名ばかりを呼集めて自分もこれより永久に馬場里の農民となる事を誓ひ記念として全村の農民に白銅一枚づゝ配つて同四時に散會した、道廳及び郡廳よりは郡守を始め勸業技手其他多數の來賓ありて頗る盛況であつた

●寺村家入札

賣上六十萬圓

京都寺村家入札十七日夜行はれたるが賣上高六十萬圓に達せり（京都特電）

●太刀山隱退披露

十八日夜精養軒に於て太刀山の隱退披露宴ありたり（東京電報）

大阪期米

▲十九日後場 ▲當限寄付 二十三圓五十八錢 [illegible]

商況

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

▲綿絲布帛騰す 氣丈成行きの機先十九日前場は米棉一圓四十錢高といふ好材料に買氣愈々加はりて當限は二百九十九圓七十五錢と昨前場より三百十圓臺に吹出し何れも其他の各期は最近の高値を凌がんとする氣勢となり現物も十六手二百八十六圓十手二百三十錢と昂騰し綿布は龍シ十圓十五錢九龍十圓四十錢鶴十圓三十錢と五十錢高殊に三銘は十圓七十五錢と二十錢方上走れり

●正米更に引締 地場正米は下過ぎ反動と籾の品薄高値等により數日前來人氣立直れる事は既報の通りなるが其後寄物依然として少なく氣配漸々高含みにて殊に値安時に買控ねし精米筋中此際氣直りを見て買焦りの向もあり急ぎ口は相當高値に望取るより目下の相場は稍々亂調に流れ居れるが標準相場とすれば先づ日本種玄の十九圓二十錢處に當り前日に比較し更に一二十錢方は引締め居れる譯なり

●苛性曹達不味 苛性曹達は既報の如く内地高値を報ずるも當地は不賣時期なると持越在品多く不活潑なるとによりて甚だ潤澤なる商狀を呈し相場も百四十圓唱へにて内地相場とは不割の下値を叩き居れり

南大門の廻穀

平澤玄米九四叺、烏山大豆二叺、郭山糯九八叺、烏山白米一叺、成歡籾一七七叺、平澤玄米二三三四叺、成歡白米二三叺、富川米三二叺、金村籾九叺、平澤籾四〇叺、金村白米一七三叺、大田糯三三叺、定州糯三二叺、一山米一六叺、江景白米六六叺、金村籾三一叺、小井里籾一一〇叺、興水綠豆五二叺、興水綠一八二叺、草梁糯一八九叺、天安白米九八叺

仁川正米

▲籾の入津少なく氣配は正米の不引立と期米安に連れ依然弱人氣を唱へ居れり ▲正米 大阪期米安を報じたるよりに精米筋の見送りに更に弱人氣を傳へ地摺玄米十八圓より上品三四十錢地摺及び沿線三等合格品十九圓二三十錢にて弗々商賣行はれ居れり

市場雜觀

▲昨後場は大阪前止三十六錢後寄三十四錢の入電に當地十九圓八十二錢にて寄付きたるも後六錢安と七十六錢と押したるが押目は又手仕舞買物多く八十錢と押したる小堅き入電に二錢も押さず大阪の多く無碍にも散會したり▲當限は二十圓丁度中限出來不申に終つた當限は愈二十日前場限り納會す。果して豫期の如き變動を演出するや將た平穩

●洋釘低落す 洋釘は割安約定物到着したるより相場は豫期の如く五十錢乃至七十錢方低落し市中値段は三時にて二十三圓五十錢見當となれり

●平板更に下落 亞鉛平板は大阪安に連れ引續き低落一方にて三十番は今回又々十五錢方下落せり目下の値段は三圓十五錢にて最高當時より一圓七八十錢方の暴落に當れるが既報の如く鐵坂不勢の傾きある折柄豫想の三圓實現も遠きにあらざるべし

●燐寸先高控へ 燐寸は一時大阪にて前緩の四十一圓處迄下落して形勢頗る非なるやに報せしが之が原因は明春よりして行はるゝ輸出檢査嚴重となる結果不合格品となるもの多き見込みにて一時見送の爲めなりといひ又支那方面の買控へが動機となりしかの如き説あり現に角相場の下落に連れて製造元製造業者中製造の中止或は制限を爲せし向現はれし爲め遂には在荷の拂底を來せし折柄諸方註文に頓に增加したるより此處に人氣も一轉して新陝步調を辿り今日にては大阪四十四圓を報ずるに至れり當地又之に伴ひ人氣未だ減切强硬に向ひしも未だ値安の手持ある際にて大阪相場と均衡を得るに至らず目下の取引値に依然四十七圓見當を唱へ居れるが手薄筋は先行き堅調を見越して殆ど賣止めの方針を取り居れり何れは五十圓近くに上るべし

釜山穀物（十七日）

正米（滿洛） 出廻品は昨今に至り幾分減少したるも市場賣り物とては餘り豊富と云ふにあらず本邦大阪定期米は依然下落相場を演じつゝあり [illegible]

仁川期米

▲十九日前場 ▲第一節 兵庫二十二圓九十三錢大阪天候不良寄付二十三圓三十四錢と昨止より五錢安の入電 [illegible]

仁川米豆取引所

十九日の二月限

[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人
全昌田仲買店
●定期米賣買案内 電信略號表御一報次第御送附可申上候
●御注文は紹介を不要致
仁川 三丁目
電信略符ドツ 振替三八二一 電話長一〇〇 電話長二一九

七川期米

▲十九日後場 大阪前止め高く後寄更に高く當地は當限十九圓九十錢先七十六錢と當限一節十九圓九十錢四節八十五錢▲中限二節十九圓九十一錢三節九十二錢三錢六錢四錢平均値段九十四錢▲先限一節十九圓七十六錢五錢四錢

十九日の二月限
後場 寄付 十九圓七十六錢 止メ 十九圓七十四錢 高値 十九圓七十九錢 安値 十九圓七十三錢 出來高 …

十日午後一時全羅南道谷城郡竹谷面に火災あり折から烈風吹荒みし爲め全部落三十八戸中十六戸を燒し其他は全部燒失したるが今回右に對し一戸に付一圓五十錢宛を救助

●本能寺（木浦行）主任… 張中に付廿二日の定期は…中止す

●連絡船上陸客 十七日午後釜山入港壹岐丸一二等客
（一等五名）…（二等二十六名）…

●不幸な罹災民は 年の瀬を何うして過すか

師走の空に近い此頃不幸にも過般の風水害に遇つた月島、洲崎、砂村、羽田などの住民は未だ災禍の後が回復されずに困却して居るだらうと思はれる、依つて先ず足を砂村に入れると

▽往來の人は平常と異らざれ、水害の名殘はまだ消ねず、屋根は剥がれ、壁は落ち惨の痕れた空家が住む人もなく其所此所に立つてゐる、庭の樹木も垣根の樹も或は離れ或は枯れて驚ての春に花咲く様もない、見渡す幾十町の水田は水を被つた稻がペタ／＼に打臥した儘刈り取られずに打棄てられてある、此所で

▽饑造りの棟割長屋西棟に收容された罹災民を訪へば、家には老婆や子供許りが留守をしてゐる、鰌ツナギの内職などに餘念もない、今以て汚れた帳簿を日に晒してゐる砂村役場を訪へば村長は記者に語る『被害當時は實際怎うなる事かと案じましたが

▽府救濟會を初め公私の慈善團體や其他からの手厚い救恤があつたので意外に早く秩序も回復して、今後は積極的に殖産法を講ずる許りですが、何よりも先に海岸堤防を築設して萬一に備へる事と私設會社發起の運河を助力して速成する様其筋へ申請する積りで委員會議を開きました、之が出來ると新設會社の見合せる向や既設會社の移轉を喰ひ止める事も出來漁業と相俟つて

▽村を富す事となる譯です、年内は水田の半分には運根もあり勞銀も高いので心配もありませんが併し棟割長屋の七八十人を何とかせねばならず、五分の一に當る純農民と中産階級の家主地主が打撃を食つてゐますから、これも相當の善後策を講じなければなりません』と更に

▽葛西方面に避けば此地は一番災害が烈しかつた丈けに個人的回復が六ヶ敷い、此所は砂村のやうに會社工場もなく、砂村の如く半農半漁も少く、純農民が多い爲め自然水田に重きを置てゐるため、砂村の半分程も蔬菜が取れず打撃は甚だしいが幸施米が殘つて居るから長屋に收容して居る人達には相當に手配りも出來やう、小産階級は砂村と同様だが

▽船乘りや勞働者は出稼ぎするので稍々樂だとのこと、月島や洲崎品川は市内だけに萬事回復が早く地理上の便宜や職業も數多く窮状は略同様だが迎歲準備は悲觀する程にもなさゝうである、飛んで羽田邊は稍々窮状が深い併し之れも天氣續きで漁業があつたから無事に歲を越せやうとは聖代の惠みである（東京）

硫安禁輸と滿鐵 滿洲産は令外か

政府が滿洲産硫酸アンモニヤを内地産と同じく海外輸出禁制品たらしめんとする計畫あるに依り滿鐵にては萬一之れが實施を見るに至りては財政上の一打撃なるを以て都督を經て政府に從來通り滿洲硫安を禁輸令區域外とせられん事を請願したる事は既電の如くなるが多分政府も種々の事情に鑑み滿洲産硫安の

▲輸出禁止を爲すが如き事は當分なかるべしと滿鐵側にては樂觀し居れり滿鐵會社は撫順に於て硫酸アンモニヤの製造工場を經營し居れり從來撫順炭は窒素分に富むを以て其の特色とし撫順炭坑は即ち之を利用して『モンド』瓦斯を作り分解せられたるアンモニヤを以て硫酸『アンモニヤ』を製造し來れるが現今の設備は一日二十五噸なりと雖も近かく之れを二倍に擴張する計畫にて之れが設備を爲したるに

▲萬一前記の如く輸出禁止令を實施せらるゝに至らば年額六七百萬圓將來に於て三四千萬圓の收入を失ひ同社輸出事業上一大頓挫を來すべき重大問題たるに至るべしと元來撫順硫安は主として南洋方面に輸出する目的を以て製造せらるゝを以て同令を實施せらるゝに至らば製造工場設立の根本目的を失するに至るべしと

黑龍省の蒙匪 ▲齊々哈爾省城に迫る

二千八百餘名の蒙匪軍は去月二十日頃黑龍省城を距る六十支里の泉興縣に侵入し討伐軍利を失して大砲二門を奪はれ死傷三十餘名に及び廿四日更に應援軍を增派したり目下討伐軍は奉天軍及び蒙古兵を併せて十三營に及べるも匪軍猖獗にして向ふ處敵なく現在省城を距る僅に二里の處に近き來り砲聲は城内に達せりと聞く討伐軍中其多くは省城に在りたる者なるを以て寒地の戰に習はず奉天軍の如きは特に寒氣に耐ふる事能はず又張魁武所部の三營は皆新招降の蒙匪なる爲め匪軍との交戰に於て鋒鋩鈍り勝ちにて剿討容易ならざるが如し猶這般匪軍の來襲は鮑督軍が彼等の投降を拒絶したるに激昂せるに因るものなれば若し鮑督軍が彼等の要求を容るゝに於ては事直に解決すべきも鮑氏は武力主義なる張督軍の後援の下に彼等を剿滅するの意志なりと

奉天大洋債券

奉天興業銀行は目下新穀出廻期に際し市場の金融に資する爲め一元五元及び十元の大洋債券を發行せるが右は債券と云ふも其實一覽拂ひにて其中行使上大洋紙幣と同一の効ある者にて春秋二季に八十萬元を發行す可しと

合群電話調印

蒙古貿易上重要なる意味を有する奉天省昌圖府奉化縣梨樹交通合群電話有限公司電話と四平街に於ける關東都督府通信管理局所管電話との接續は過般來梨樹電話局長王廷珠と管理局との間に協約交渉中の處愈々十三日双方協定調印を換はし二十一日より交換實施に決定せるが我附屬地内に在りては長春、奉天開各地と支那側に在ては梨樹、楡樹臺、小城子、老郭家店、孤家子、八面城、蘇家屯、萬發街、獸窩堡、泉眼嶺、拉馬拉、十二馬架子等に通話する事を得此の地方は滿洲特産物の主なる集散地にして此の電話開通の爲め日支兩國人の享くる商業取引上の便利は多大なるものあり殊に奉化縣は蒙古通路の主要地にして近來發達し來れる蒙古貿易上該電話の接續開始は重要なる意味を有するものなり

米國豆類禁輸

英國の豆類輸入禁止に次ぎて又々米國の豆類禁輸の爲め滿洲特産物市場は現物先物共に軟弱を告げ居れるも未だ禁輸程度即ち特許標準の内容明かならざれども其の標準如何に由りては少からざる打撃を蒙るものとして取引業者金融界は一般に憂慮し居れり

煙草値上なし

内地煙草値上に伴ひ滿洲に於ける煙草も亦値上げせらるゝ如く傳へられたるも滿洲に於ける官煙は外國煙草との競爭等に由り當分値上げを見ざるべし滿洲に於ける煙草の製造は英米煙草並に東亞煙草の二大會社が最近一箇年間滿洲各地に販賣せる各種製造煙草の數量は八萬二千百九十四梱にして其の價格六百六十八萬六千百九十六圓にして之に大連奉天及び長春等に於ける各個の製造者及び各販賣商を加ふる時は一箇年間の製造煙草販賣額は少くとも八百萬圓を下らざる可く更に下級勞働者の喫用する粉煙草及び葉煙草等の數量を一箇年間四百萬貫と推定し其の價一貫目八十錢として三百二十五萬圓を加へ滿洲地方一箇年の煙草消費高は千百二十萬圓に及ぶべし（奉天）

安東建物會社

去る大正三年より大正四年頃に亘り一部人士に稱道せられつゝありし安東建物會社設立の議は其の後殆んど立消の姿となりしが近來急に諸事業の勃興するあり又移住内地人の激增を見安東の家屋状況極めて良好なると一方安東の家屋なるものは多く寒氣時代急增の用に應ずる爲め建築されたるもの多く爲めに永久的にして防寒的設備をなしたるものは尠なく十年餘の歳月を閲みしたる事とて早や改築期に入れる家屋も少なからざる事情の爲め該事業の施設は尤も緊要なるものゝ如く思惟されつゝあれば再び前發起者側に於て計畫されつゝあれば多分明年早々實現するなるべく其の資本金は目下の處三十萬圓の豫定なりと

山嘉氏の入札 ▽總賣上高十三萬圓

十四日下見十五日入札の大阪美術俱樂部に於ける山口嘉藏氏の入札は想像の人氣を集め總賣上高十三萬圓の賣上げを見たるが第一の呼物たりし時代黑無地斷紋螺鈿の烏帽子卓は二萬三千九百圓にて坂田に落ち行先は野村氏か鴻野氏の註文なりとの評判なるも實は鴻池の註文なるべしと其の重なるもの左の如し（大阪）

痘瘡蔓延の兆

去る十日頃突然痘瘡患者を發見したる安東縣は其の後死亡者二名を出したる上殆んど毎日の如く新患者を發生し既に六七名の多數を算するに至れるを以て當局者は是れが豫防阻止方法に就き十五日より種痘を開始し毎日五百餘名宛に對し施行しつゝある有様なるが發生患者の經路を見るに强ち一地區一市内に限られず點々所々に發生し危險云ふべからざる状態なるを以て市民一般は危惧の念に驅られつゝあり而して既發生患者は眞正の痘瘡と見る能はざるものゝ如く多くは水痘及び假痘患者なるが尙ほ終熄の期は不明なるものゝ如し（安東）

寺村の大入札

由緒に富む珍器が澤山 京都は之れで大略終ひ

▼來る十八日京都美術俱樂部で入札の同市寺村家所藏の書畫骨董三百七十點は十六、七の兩日が下見、十五日に飾り附をしてゐる内から早くも京阪の一流好事家が多數に押寄せてゐた

▼寺村家といふは河原町四條上る處に暖簾の古い絲屋で屋號を絲屋と言ひ助右衞門は代々の名前で三四代前の主人は大の風流家であつて藪内流の大茶人である殊にその代の主人として百油と號した有名な人であつた、現に洛北の一條村にも『花守は野守に代へる今日の月』と百油の句に對して『西と見れて日は入りにけり春の海』と蕪村が詠んだものが大きな碑石に刻まれてゐる

▼其上に諧を應擧に學び茶道を比老齋に就て研究したといふやうな家柄であるから隨分由緒のある珍器が尠くない、今回のは第一回で二回三回は來春に行る筈であるが無論選拔品でもあらう悉く可なりの名品

▼殊に評判の高いのは器物類で祥瑞ひだ扇の香合といふのは元の道庄の秘藏物で天下一品と誇つてゐた程のもの、扇のひだと親骨のあるのは全く類品がないと決つてゐる、これに亞いでは宵貝の天下一の香合で遠州藏帳の内でもあり殊に内朱といふ珍品

▼それから三作三島の茶碗は宵貝の挽家だけでも大したものであるが其上に大炊頭の文も添うてゐる、佐久間將監の箱書ある寄磁一輪菊の香合や中井家傳來の金海洲濱の茶碗、或は志野の羽衣茶碗などもあるが夫れよりも名物大井戸の茶碗は北野の大茶會に利休が豐公へお茶を佈めた由緒のある品だとのこと

▼それから祥瑞の鹿猿花鳥の茶碗といふのは長銘のある頗るの美品で古備前の水指はヒカタの襷り物で小堀權十郎侯の箱に入つて居るといふ有様も一つ面白さうな品は無庵名物の竹心共筒の茶杓である銘が笑ひ布袋といふので『髭奴』と『布袋面』と共に三本の内といふことになつて居る、處が共内の布袋面は昨年雁半の入札に出たが髭奴は祝融氏に見舞はれて今は二本ものとなつて終つたといふことである、『不網丁を客嘲笑ひ布袋面』との言を簡に認めてあるのが何よりの呼物

▼それから書畫幅も可なりの上物、殊に嬉しいものは凡ゆる名物裂を惜氣もなく使つた表裝で先づ一番に指を屈すべきは牧溪の蘆に鶺鴒『虚堂の横物、大燈の四行』一休の八行、義滿の三首懷紙、西行の消息、醍醐帝の宸翰、簸光、假名文定家の色紙などは孰れも衆人の的となつてゐるやうである

▼豫定の賣價は少くとも四十萬圓、關西では實に大入札だといふので大變な人氣を集めて居るが京都の舊藏家で道具を賣りさうなのは先々之で終ひであると思へば何んだか物淋しいやうな氣がすると同地の好事家は悄然として語つてゐた（大阪）

切傷から破傷風 生爪を剝した時の手當

◆刃物で手足を深く切込んだとか、又は切斷されて多量の血が出る時には、一刻の猶豫もなく、有合せた手拭其の他の紐類で、出血部の上部を思切つて强く動脈が緊る程度に緊縛して置き、直接醫師の手當を受くるが可い

◆但し多量出血の場合は、咽喉が渴くから此の時は鹽水をのませる次に高い所から墜落して氣絶した場合の處置は、即刻其處へ倒れたまゝで、冷水灌腸を施せば程なく蘇生するものであるから其れから醫師を迎ふるが安全である、打撲傷で患部が腫れて血腫を生じた

◆又創傷のある時には、沃度丁幾を塗つて其れから罨法を施せば大概のものは其れで治る、次に骨折の場合には少しでも身體を動かすと、非常に痛むから、其儘に寢かして置き、有合せたボール紙又は板片を副木代用として、患部へ當て、適宜に結び付けて置き醫師に見せるのである、次に

◆生爪を剝がした時には剝がれたまゝで、潔くと他の物に觸れる毎に痛みがあり、又後から出來る新しい爪の爲めもあるから之は醫師に就て速かに除去して貰ふが可からう、次に燒傷の場合には輕いのはアマニ油、又はワセリンを塗つてから、硼酸水の罨法を施せば治るが、重傷の時は片時も早く醫師の手當を受けるのが安全である

◆怪我の創口から惡い黴菌が這入る最終に注意して置きたいのは、恐るべき丹毒又は破傷風を惹起する事がある、丹毒では老人と乳兒を除く外は死ぬやうな事はないが破傷風は殊に危險の病氣である、之れは多くは汚い怪我即ち塲末の小溝の所などで受けた怪我から發する場合が多いから特別注意を希ふするのである（某醫師談）

ドー見ても染たと見ぬ染毛劑

㊇不思議なお友達

此間迄年でもないのに白髮だらけで困つて居たお友達の×子さんが此頃急に白髮のシの字も無く、艶々した美しい髮になつた。はて不思議何で染めたのだらうと、翌日後へ廻つてよく／＼見ても、ちうも染毛劑で染めたらしい形跡もない。自分も發て赤毛で困り拔いてゐる身の、尋ねるのも些と業腹作ら背に腹は換へられず、此處少々謙遜の態度を採つて尋ねると『はい、實はナイスで染めましたのよ。』と躊躇した顏付。

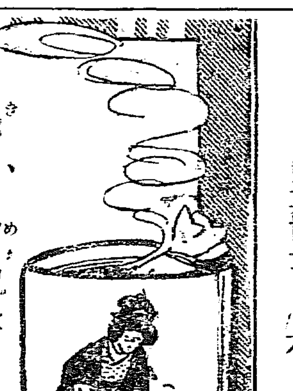
㊇お友達の得意顏

なんだ、そんならそれと早く言つて異れゝば可いのに。ナイスであんなに美く染まる物とは思はなかつた。でも、染めたとは何うしても見わかせんものですから。」と言ふと×子さんは然もこそ「それだから私は種々染毛劑がある中にナイスを撰んだのですもの。ホントに使ひ方が手輕で正味たつた二十分間で染つて、其が此通り自然の黑髮其儘の色澤なんです。枕や襟なんかへ附く事もありませんし石鹼で洗つたつて平氣な位ですから、一度染めたら隨分長い間保ちますし、こんな重寶な毛染は御座いません。貴女は未だナイスを御存知なかつたのですか。」と少々侮蔑したやうな調子。

㊇成程お話の通り

まあ／＼と胸を撫つて、早速ナイスを使つて見たら成程×子さんのお話の通り、ちう見ても染めたとは見わけない、ほんとの生付の美い髮の色艶其儘「毛さわ赤く無かつたら。」と言はれてゐた顏を鏡に映して見ると、容貌も急に引立つて美しうなつた。他日×子さんに逢つたら、さぞ吃驚するであらう。成程專門の學者が長い間研究を積んで完成した丈けあつて、ナイスで染めると少しも懸さらしい所が無く、一度使へばモー外の染毛劑は使ふ氣になりません。發賣元は有名な丹平商會大阪心齋橋、東京西屋町、價は大瓶七十錢中瓶四十錢、小瓶三十錢。到る處の藥店化粧品店にあります。

▲寒さと「トンビ」▼
一 特長トンビ　金參拾九圓也
一 甲　同　金參拾六圓也
一 乙　同　金參拾圓也
一 女コート（頭巾付一割增）特價　金拾九圓也
一 行燈袴　特價　金九圓也
㊀純毛にして色合は新流行良色
㊁世間有りふれたる内地製品にあらず
㊂純英國製にして「シワノヨラヌ」事保證付
但しコート袴共五拾枚限り右特價發賣仕候
京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



大評判の かぜねつ 婦人冷込藥 守妙（守田の妙振出し）
効驗眞に他藥に優る
中瘧の害に冒され易い他の散藥丸藥と異り守妙は風邪熱、婦人冷込み諸病に驚くほどヨクキク上に服めば服むほど胃腸を强健にし便通を程よくする等の他に類のない保温强壯藥なれば論より證據マア一度他藥とお比較み下さいます
主効 四季の引風、惡寒發熱、たんせき一切、頭痛逆上、寒さあたり、其他婦人の冷込より起る諸病に効あり
（定價）試用一貼金五錢 … 德用 …（各地藥店にあり）
發賣元 東京市下谷區御徒町廿七 本舖（十二世）守田治兵衞（振替東京一九八五番）

世界に誇る
㊉本日より賣出し
勅題 海邊の松……干支……初午
大京城菓子界の權威
製菓博士 本城屋 電話二三四三番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 …番 振替京城五七番

陸軍御用達 佐藤古着店
寒冷袢、袴下、其他一切 京城府黄金町…

珍しきつかい物 殊に内地への進物として妙
金剛山 金剛飴 金剛糖 金剛羊羹 人蔘羊羹 栗羊羹
京城本町二丁目 龜屋 電話二七、四七〇番

職業
日韓專賣特許 … 上田總本店

母ヤス子儀豫て病氣中の處藥石効なく本日午前一時死去致候に付き此段謹告候也
追而葬儀は明二十一日午後三時自宅出棺龍山龍雲寺に於て執行可致候
大正六年十二月十九日
男 幾野唯六
親戚總代 中路多二郎 中路仁吉 二位成治 原志摩治 八本精一 松村三省
友人總代 正木直太郎 富士淵然 佐々木四方志 佐藤峰太郎 望月慮麿

左甚五郎

第百十八席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

甚五郎は大久保彦左衛門より招かれまして取り敢ず屋敷へ出ました 彦『甚五郎、今度日光の御普請は桑原遠江といふ者に申付けた處、何分にも捗らぬ故急速出来いたす様申聞けた處、桑原が申すには然らば江戸表より大工を遣はせとのこと、其方の外に遣はすべき者が無いから御苦労だが一つ遠江に手傳ひ一日も早く出来いたす様に』と申し渡しました、時に甚五郎が考へた、江戸から大工が乗込んで仕事をすれば土地の大工が喜ぶ氣遣ひはあるまい、然し他の普請と違つて日光の御普請、是は末代までも殘る仕事、願つても無い幸ひ、上の御用とあつて見れば桑原遠江のお彼是云ふ處は無い、是は一ツ上のお言葉に從つて日光へ乗込んで腕を奮ひ、末世に昔甚五郎といふ者が居たといふ仕事をしたと話しの種に遺る様と腕に問ひ腹に答へた末、甚『委細承知をいたしました、左様なら早速日光へ乗込んで御普請に取りかゝります』彦『何分然うしてくれろ、お上に於ても御満足に思召すであらう、御苦労だが宜しき様に』と彦左衛門も大きに喜び、早速甚五郎は立歸つて来て、茲で仕手方の人達も成るべく選んで、政右衛門の倅政吉を初めとして三十人を召伴れまして江戸を出立いたしました、何にしろ職人衆が三十人も揃つて出懸けるのでございますから、道中の賑かなことアリツと諧謔可笑しく景氣づいて参りましたのが、[illegible]といふ處、一件の茶屋がございます、甚『ドウ/\其處へ入り込み』甚『爺さんや、茶を一杯くんな』爺『ハイ/\入らつしやいまし』○『オイ此方へも茶を一杯くんねえ』爺『ハイ/\入らつしやいまし』△『オイ爺さん俺にも茶を一杯くんねえ』×『オイ此方に煙草の火が無えぜ』□『オイ團子を此方へ十本ばかり持つて来てくんねえ』○『オイ煎餅を此方へ持つて来い』と大勢でございますからソア/\云つて茶屋の爺さん眼が眩はるやうに忙しいこと大變、彼方へ廻り此方へ馳け廻つて居る、甚五郎是を見て 甚『コウ/\皆な静にしろ、可哀想に爺さんが一人でチンテコ舞をして居る、まア/\静にしねえか……爺さんや』爺『ハイ/\』甚『煮餅だの團子なぞは何んだ能く計算しての、そつくり此方へ突出して置くが宜い、間違へると叱けねえから』爺『ハイ/\有難う存じます』大勢の大工さんは頻りに菓子を喰べ茶を喫んで騒いで居ります、中に甚五郎はパクリ/\煙草を吸ひながら見ると傍にございます茶屋の爺の煙草入、餘程古くなつては居りますが、鐵物は取れてしまつて袋も大分破れて居る、根付が木彫りの七ツ面といふもの、手に取上げた甚五郎頻りに見て居りましたが 甚『爺さんや、此の根付は大層立派なものだの』爺『エイ何に詰らないものでございます、子供の玩具箱の中に入つて居りましたので、そんな物でも提げて居ないと持歩くに都合が悪うございますから、根付にそれを付けて居りましたが、そんな物は仕方がございません』甚『何うだい爺さん俺に賣つてくんねえか』爺『ヘエ何にも何にもそんな物を買つたつて仕方がございません』甚『イヤ然うで無い俺が二分で買つて置くが、何うだい』爺『へエ……二分でございますか、有難う存じます、二分ならもう早速差上げますで』甚『じやア此根付は俺が貰つて行くよ』とポツリと根付だけは切つて懐中へ入れて、根付の七ツ面、是を懐中へ入れて茶代を拂つて表へ出ました。

書画用 絖画絹
京染呉服商店 ときや出張所
京城本町 電話一九六番

御贈答用に萬人向の メリヤス類は
㊔ 鈴木支店
京城本町一 電話一八七三

自動車運轉手
自働車!! 自働車界は益々有望運転手と雖も月收六七十圓多きは百圓以上に達す(海外二百弗)茲に本校は校内生及校外生の二科を設け [illegible]
京城府外 [illegible] 自動車學校

十二月廿一日九星 [illegible]

演藝案内

本町五丁目 稲荷座
博多笑劇松葉屋組一座 自十二月十二日より
▲一番 妙な親分 ▲二番 教育劇 ▲三番 餘興文人手踊 ▲四番 義侠の醫者

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 [illegible]

浪花館 [illegible]

黄金館 電話二二六三七 [illegible]

大正館 井町 電話八七三 [illegible]

りん病
急性慢性を問はず國士發見の最新藥配合 七日分一圓 十四日分一圓五十錢 [illegible]
京城黄金町 山田文殊堂藥房

品の道しるべ 村上唯吉共著 定價 [illegible]
京城日報社代理部

艶美しい黒髪とする 水滴れるやうな
歳末・年始の御進物用に好適
ホーカー美髪液
□髪の色艶なく美しくする
□いつも麗々しい濡羽色となる
□チヤレ毛クセ毛がなほる
□髪にフケが出なくなり、油上るをなし
□毛髪の發育を補け
□抜毛を止め香水代用となる
定價 大三十五錢 小二十錢 送料 [illegible]
全國到る處の小間物化粧品店藥店に販賣す
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店

一番よくきく
アレ止は
クラブ洗粉 本店謹製の
美身 クラブクリーム
此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くもたるの光榮を辱うしつゝあり。
皇后宮職御用品

歳暮には仁丹が一等

淋病新藥 ツヨール
故下山藥學博士、高松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士設定 ▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、前立腺炎、膀胱等其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
百粒入金壹圓八拾錢 五拾粒入九拾五錢 三十粒入六拾錢
●説明書無料贈呈す 製造元東京市日本橋 ツヨール商會 ▲發賣元大阪道修町 田邊五兵衛

京城電氣株式會社 瓦斯コークス
一手販賣所 京城南大門通五丁目 越野商店 電話二〇二二番
御小賣共廉價にて販賣可仕候特に地方行は迅速に御取扱可申候

汽車發着時刻
京釜線(南行) 同(北行) 京釜連絡 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同 京元線(北行) 同(南)
[illegible]

京城日報　二十日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

第五版

發行所 京城大平通一丁目 京城日報社

仁川期米　仁川米豆取引所　十二月限

支那漫遊　書籍の生命
蘇峰生

支那は流石に文字の國也。一方には革命騒亂の其中にも、他方には古書珍籍を蒐集して、自から樂しむ者あり。而して流石に、書物の本家本元丈ありて、幾多の爭亂、幾多の兵火を經つゝも、倘ほ舊槧、舊鈔少からず。所謂る古川に水多しと云ふ此事也。

劉承幹氏の嘉業堂文庫中にて、予が瞥見の際、記憶したる宋槧のみにても、蜀大字本史記あり、紹興板史記あり、前後漢書の大字本あり、袖珍板の禮記あり。特に珍重す可きは、陳壽三國志也。將た宋刻烈女傳中に、繪畫を挿みたるが如き、同時代に於ける、印畫の標本として、尤も悦ぶ可きが如し。而して翁方綱の四庫全書提要の稿の如き、亦た其の苦心の痕を覩るに足る。

予は廿二日午前、王國維と約して、蔣汝藻氏を訪へり。蓋し氏も亦た同好の一人なれば也。匆々の際なれども、吳郡圖經續記の如きは、北宋精板にして、海内孤本と稱する丈ありて、流石に立派也。予は此に對して、我が成簣堂所藏の廬山記が、其の紙質に於て、其の字體に於て、全く同一なるを發見し、心中頗る愉快を感じたり。更らに悦ぶ可きは、宋槧の參寥子集也。而して何れも百宋一廛主人、黃蕘圃の手を經たるもの也。

特た氏が尤も誇る所は、宋雪巖の忘機集也。是れ眇乎たる一冊なるも、嘉熙板にして、宋末に屬する丈ありて、海内に比類罕なる本也。而して其詩復た誦す可きものあり。予は氏に向て、切に其の複印を勸告し置けり。將た陸放翁の南唐書を、明の錢謙益が手寫したるものあり。全部同一手に出で、海と其の筆蹟の美なるを見る。書の卷頭見返しの頁に、左の詩の鈐印あり。曰く、

賣レ衣買レ書志亦迂。愛護不レ殊隋侯珠。有レ假不レ返遭二神誅一。子孫鬻レ之何其愚。

是れ前持主若しくは前々持主の、愛著の餘に出でたるものならむ。されど之を賣る者なければ、之を買ふ者も亦あらざる可し。書籍は天下の公寳也。豈久しく之を私有す可きものならん哉。況んや之を子孫に強ふるに於てをや。愛護す可きを以てす。是れ天下の公寳をして、空しく蠹魚の餌たらしむるに過ぎざる也。

要するに支那に於ては、一方に盛んに出す者あると與に、他方には賣り出す者あり。書籍の支那に於ける生命は、未だ新學の流行の爲めに、何等の影響をも受けざるものに似たり。

上海に告別す
大正六年十一月廿三日朝上海に於て

十一月廿三日、蘇州より上海に歸り、翌廿三日、蘇州を見物し、南京を經、濟南に出で、泰山を過ぎ、曲阜、青島より歸國の途に上る豫定なりし。十一月十一日の夜上海に着し、廿三日の朝出立す。中間の三日を除き、十一日を杭州行より控除するも、猶ほ全十日餘を費せり。何故に斯く此地に淹滯したる乎。是れ「此く入る多處是吾鄕」たる爲め乎。將た上海は南方の要衝にして、然も列國合同の小共和國たり。四圍の壓迫なく、商天地、自由の空氣充滿したるが爲め乎。

日本人は上海に於て、一大勢力たり。其の統計上の人口は、已に一萬五千を數ふ。然も上海自治政治の評議員九名中、僅かに予が親しく相知る男一人を出せるのみ。是れ選擧が頭數によらずして、納稅の資格によるが爲めのみ。今日にても、若し日本居留民にして、相互ひに申合せ、其の資格を作らば、更らに其の代表者を出だし得可き方便なきにあらずと云ふ。

爾も從前に比し、日本人は上海を横行闊歩しつゝあり。是れ時に於ける、戰爭の影響なる可きも、亦た國運隆運の賜たる可し。何にしても上海が支那に於ける、唯一の安全地帶たるかは、支那人にして、少しく身邊に危險を感じ、若しくは不自由を感じ、或は疑懼の念に襲はれつゝある者は、何れも其生命財産を携へ來りて、此租界に託するを見て知る可し。要するに支那に一事變ある毎に、上海は必ず膨脹す。若し日本の工業が、此地に勃興する曉とならば、更らに其隆盛を見るの時あらむ。

予の當地にあるや、始終藤村男爵、及び[illegible]の厚意に對して、鄭謝せざる可からず。[illegible]而して此地に淹留して、歸期を忘れしめたるものゝ[illegible]君、佐原君、井手君、其他諸君の、予をして各方面に於ける觀察を、容易ならしめ、多大の便宜を與へられたるが爲めのみ。

大正六年十一月廿三日午前 上海に於て

朝鮮古墳の變遷（十七）
古墳の外形、其起源
八木奘三郎

又埃及の三角塔も已に天文臺なりとの所說は彼の埃及學者の間に[illegible]進せらる、然るに支那の[illegible]天文臺なりと云へることは[illegible]

[illegible]

京日詩壇
（二三）

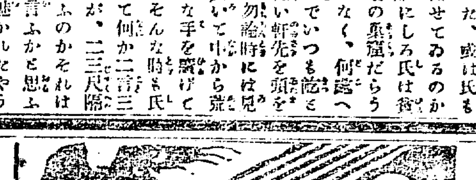
[illegible]

さうして（十九）
布施生

國柄はそれから大鳥居で武熟郎と別れた。部屋は二階を借りた。[illegible]方にあつて武熟郎は一月に見遁された。此の門前は一寸と云ふ八畳の間で何處までも[illegible]銃氏の[illegible]三畳で[illegible]が妙にそれ[illegible]頃に角此のかそれとも何か理由があるのか[illegible]して毎日ぐる/\と[illegible]にも乗らずに街へ出ろ、そして歩く[illegible]に彼方此方に目を配らせて歩く樣は丁度鳥が餌を探すと同様であつた。晩の五時頃になつてやつと[illegible]つてくるかと思ふと大急ぎで[illegible]ゆく。

[illegible]の端を置いて七時前後と云ふのに又出かける。其の所を歩くでもなく朝と同じ處を徘徊す、よろ/\と左右に目を配りながら彷徨歩いて擦れ違ふ女の顏を覗込む。國柄は生憎、半は怠、半はそれから何か手掛りが出來るかと云ふ望で二三日もこうして武熟氏の跡をついて歩い[illegible]

[illegible]い人間ばかりであつた、或は氏もか[illegible]國柄同様煩鎖を忍ばせてゐるのか[illegible]も知れないが、何れにしろ氏は[illegible]浪者の巣窟だらう[illegible]一向遠慮する風はなく、何處へ[illegible]を結びながら暗い軒先を頭を[illegible]忽ち時には[illegible]く男が飛出し大きな手を擴げて[illegible]る時もある。そんな時も氏は[illegible]何か二言三言云ふやうであつたが、二三尺隔てた國柄には何を言ふのかそれは一向聞かなかつた。氏は又魔物にでも魅かれたやうに見返りもせずすつ/\と歩いてゆく。



最新刊
易と姓名學　運命之研究
[illegible]題字　[illegible]序
定價一圓八十錢　六合館

開運の鍵は爰に提供せらる!! 運命に泣く者は本書に依りて幸運を、宿世の業因に惱める者は苦難を退轉して歡樂を、好運に狂喜し雜究しつゝある者は前知せよ三千年の神秘は公開せられたり本書は正に是れ「安全第一」の鍵なり。

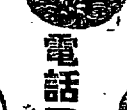
著者曰く運命は[illegible]研究[illegible]天運[illegible]生の事實[illegible]運命

世界の大亂[illegible]突發的[illegible]狂瀾[illegible]安全[illegible]針路[illegible]運命[illegible]愼重に[illegible]研究[illegible]成功[illegible]失敗[illegible]恢復[illegible]煩悶

御進物には
三越の商品券
三越の商品券は東京、大阪、大連、京城の本支店共通にして三越販賣の何品にても御引換相成るべく御手軽にして至つて御重寳、壹圓以上[illegible]箱入として調進仕候
京城　三越吳服店

福引附　歳暮大賣出し
▲雜貨洋酒食料品菓子類洋食器類其他御贈答品各種澤山取揃居候
△福引券は雜貨食料品等にて[illegible]又東京、大阪、神戸、大連[illegible]に御便利に候▽
京城本町二丁目　亀屋

大々的大割引　歳暮大賣出し



なりました　昨夜御注文の村木時計舖から
ダイヤ入指輪や金時計其他色々珍奇なものを持つて參りました　早く來て御覧なさい
もし/\あなた御約束の八時二十分に
電話四七一番をお呼び下さい
京城支店　本町二丁目　村木時計舖

移轉廣告
豫て新築中の弊社支部今般落成に付左記へ移轉致候間此段謹告仕候也
京城大平通二丁目十六番地（大漢門前）
日本公債株式會社朝鮮支部
（電話一六〇二番）

▲新年の鷲印レコード賣出し▼
好評湧くが如し品切れとならぬ内に御注文を

目錄進呈

[illegible]

▲[illegible]
大正七年[illegible]

英語が樂々と上達する
教育レコード（一箱六枚入）定價金一圓二十錢
東京帝國語學校教授メドレー先生 ヒユーブ先生吹込

右何れも鷲印兩面盤一枚金一圓五十錢の五十錢引賣出し

京城本町二丁目
日本蓄音器商會
電話二一八番　振替京城[illegible]

ウクライナ過激派大敗
▽内亂益々擴大す

小露西亞人民と過激派との間に爭鬪起り過激派は大敗したり内亂は擴大しつゝあり（オデッサ電報）

獨艦北海を荒す

英國下院に於て海相ゲデス提督の發表する處に依れば四隻の獨逸驅逐艦は去る水曜日北海にて英汽船一隻中立國汽船五隻より成る護衛船隊を擊沈し更に英國驅逐艦のパトリッチ號及び四隻のトロール船を擊沈し總計八千噸を沈めたる上逃走せり（倫敦電報）

軍費支出と應援部隊

北京政府は南伐軍費として約二百萬圓を支出せり曹錕氏の第一路は奉天直隷の各一個師團を以て組織し漢口より岳州を應援す可く張懷芝氏の第二路は山東一師と張敬堯氏の一師を以て南湖より臨建を掩護す可く其他の北洋軍隊は暫く現隊に止まり應援の豫備を爲す可し（北京特電）

國會改正案提出

參議院は十八日午後開會政府委員、委員長より國會組織法改正案を提出し理由說明ありたる後同案は委員附託となれり（北京特電）

馮總統妥協夢想

馮總統が張懷芝、曹錕兩氏に出動命令を出せる如く傳へらるゝも右は事實に非ず王占元氏の要求ありし故去る十五日先づ取敢へず一個旅團を南下せしむ可く曹錕氏に命じ張懷芝氏と曹錕氏に將來の作戰計畫を示し研究し置く可く訓令したる丈に過ぎず斯く爲せしは張懷芝氏が勝手に出兵せんとする計畫ありしを以て之を宥め同時に猶南方派を牽制せんとするものにて總統は依然妥協を夢想し居るなり然れども張懷芝氏は該訓令を以て出兵命令と思惟し出兵せんとし十七日午後曹錕氏と連名南方の罪狀を列擧したる討伐命令を宣布あれこ打電し來れり（北京特電）

討南軍輸送準備

北京政府は南方討伐軍輸送準備として京奉鐵道貨車二千輛中四百輛を津浦線に四百輛を京漢線に轉用し濟南、浦口、保定間を運轉せしめ某驛は頗る惡影響を受けつゝあり（北京特電）

日清汽船射擊さる

日清汽船會社大元丸（千五百六十七噸）は十四日午後八時半荊河江（湖南省にあり岳州を距る北方二里、水路の明瞭地）の上流にて北軍の一齊射擊を受け且つ臨檢されたり船長は北軍司令官に嚴重抗議を申込めり（上海特電）

拓殖初會議

拓殖會議第一回會議は十九日午前九時半より内閣にて開會寺内首相の訓示あり午後二時散會したり（東京特電）

鐵材輸入

最近鐵材の輸入あり神戸港は鐵類の堆積を見るに至れり（神戸特電）

軍司令官動靜

松川軍司令官は小野參謀野津副官を從へ午後四時平壤着、野島聯隊長、各將校工藤長官、鳥山憲兵法院長等出迎へたり（平壤特電）

鮮銀店長會議
大連支店にて開催

朝鮮銀行大連支店にては二十一日より二日間國庫引繼に關し奉天、安東、鐵嶺、遼陽、旅順等の各支店出張所店長主任會議を開催し大田理事より國庫事務取扱ひ開始に就き指示する處ある筈（大連特電）

新年歌御會所役

明年一月宮中に於て御擧行の新年歌御會始所役十五日左の如く仰付られたり（東京特電）

御歌所長子爵　入江爲守
大正七年歌御會始奉行被仰付
正二位伯爵　鍋島直大
同　讀師被仰付　正三位侯爵　徳川頼倫
同　講頌控被仰付　從三位男爵　藤枝雅之
同　講師被仰付　正三位子爵　持明院基哲
同　發聲被仰付　正二位伯爵　大原重明
正三位子爵　大宮以季
從四位　長谷信道
正五位　大原重明
講頌被付（各通）

金融機關整備計畫（中）
金融組合中樞機關設置　地方銀行設置許可方針
度支部長官　鈴木穆氏談

中央政府の低利資金供給計畫といふのは、求むべき諸會に於て際限なき事に適應せば、既に東洋拓殖會社法改正の結果、其本社を東京に移し、滿蒙及び南洋方面迄も其業務を擴張せらるゝに依り先頃國政府の出資に係る同會社の債券六萬株は之を

▲一般會計に 引繼ぎ其代り金二百萬圓は今後六七年間に中央政府より總督府特別會計へ交附さるゝ筈である、果して然らば期の通りに運ぶものとすれば、此金を低利資金に充當し、金融組合を通じて適當に撒布することが出來る[illegible]込みであるが、併て伴う[illegible]金融組合の監督並に其運用に就ては一段の工夫を要するものがある山來一道内に在つてすら二十位の金融組合が個々獨立して何等の聯絡も保たれてゐない、無論他道の組合とは一切無關係である、若し組合相互資金の融通が出來るならば前にも述べし通り貧弱なる資力にしても

▲目的に數ふ る丈けの[illegible]の中樞機關に[illegible]銀行にせよ[illegible]の途があるが、政府[illegible]、個々の[illegible]之れに援助を與ふる事も無く[illegible]小組合に對する如き不便も無い[illegible]危險を蔵することもない道理である、隨つて組合其ものゝ資金の融通容易く行はれて、組合の總ての機能が相俟つて十分に其機能を發揮することが出來るであらう

（中略）從來各地方の事情を亦強ちに之を要求する程でも無かつたが、時勢の推移は資力の充實を促し、其資力の運用を便にし、効果を大ならしむる爲めに其の中樞機關を設けて、地方金融組合に對する監督を一層周到にし、資金の據統をも尠からずなることに爲ねばならぬ、内地には産業組合の聯合會は在るが、彼れは組合の監督に任ずるものでは無く此は地方金融組合の監督をも掌る[illegible]

五州輕鐵
著手期如何

神戸鈴木商店の南鮮五州輕鐵計畫に付權質筋より聞く所によれば該計畫の發端は八月中旬[illegible]

◇入京せる内藤博士（右は稻葉君山氏）

▲輕鐵を計畫 せる實業家二三が其の目論見を齎らし鈴木商店を訪問其の投資を勸說せるより起りし問題にて鈴木としては大體に於て右計畫に贊同せしも未だ進んで其の豫定線の實查等は何等行ひ居らず又右願書は最近光州の全北忠南等には正式に差出し居らざるものゝ如し更に右計畫の出願は七名の連記にて鈴木商店を代表しては小山京城出張所長署名し居れるが鈴木には該輕鐵をいかなる組織によつて經營するかは未だ決定し居らず目下南方面に

▲全南道廳に 提出せる外該輕鐵調査のための出張員も目下調查中にて右計畫者が明年二三月頃迄に決定する筈となり居るも[illegible]

▲二百五十九 哩の輕鐵を敷設する事となれば其總工費は[illegible]の如き鐵價騰貴の際は[illegible]見込み其の筋へ[illegible]に付其の實施は今日より見れば[illegible]調査等に時日を要すべく愈々實施を見るは[illegible]終戰後の事と見るべし[illegible]

技術官會議（第三日）

總督府技術官會議第三日は十九日午前十時より總督府第二會議室に開催小原長官、一般戰爭經濟等に關する打合あり午後小原長官の說示ありたり[illegible]加はり居れるもの、如し

京城學校組合會

京城學校組合にては來二十四日午後一時より會議を開き消耗品に關する豫算の更正並に賦課金減免の件等を附議する由

屯鐵延長工事竣成

朝鮮鐵道延長工事は屯[illegible]起工以來順調に進捗し十七日竣工したるを以て同日試運轉を行ひ[illegible]技師、成田鐵道局長、[illegible]竹內、水野[illegible]長等乘車試運轉を擧行せり

湖南博士の支那談

[illegible]

今回の旅行は目的も何もありませぬほんの漱石布の色揚げと言ふ所ですが、此の前支那へ行つたのはまだ革命前の事でしたが其の當時と較べて大した變化も無かつた樣に思ひますあんな風に南北の爭鬪があつても一般支那人は平氣なもので袁世凱の時の樣に暗殺騷ぎと言つた樣なものもありません北京の街などは

▲極めて平和 な樣でした唯だ支那の人民は斯んなに世が亂れると税金其の他賦課金品を言ふものが段々と重くなつて來る即ち重税苛税と言ふものに少からず弱つて居るのです南北の形勢だとか何とか言つても支那の人民は少しも氣にして居ない樣です唯だ當路の人達が幾分騷いでゐる丈けの事でしやう……支那に對する日米共同宣言の如きも矢張り同じ事で内地ではやれ一般に好感を以て迎へられたの何のと言つて居る樣だけれども之れとて當路の人達ばかりが頭に置いて居る位なもので一般人民は

▲吾關せず焉 の態度の樣です……丁度十月の下旬に内地を出發しまして北京に二週間ばかり滯在し南の方は長沙迄行きました

今度は大總統には會はなかつたけれども段祺瑞には會つて來ました一般の日本人は彼れを非常な曖昧屋の樣に目して居る向もある樣ですが彼れ自身は「自分の說に反感を抱いて居る人達とか南方派の人達が盛んに流布する謠言誹謗を日本の人達が敬虔な態度を以て信ずるから遂に決して彼等反對派の發する

▲謠言や新聞 の言說で自分を毀する事は出來ないのだ!」と言つて居ました曲阜には泊りはしなかつたが孔子の墓には詣でました一體曲阜と言ふ所は殆ど孔子の末葉を以つて埋められて居ると言つても善い所で丁度自分達が乘合はした車屋も矢張り孔子の一族でした孔子の子孫は八十代位に迨んで居るでしよう一族の墓所は大した廣さで何んでも八萬坪からある相です

内藤博士入京

稻葉君山氏も同行

支那内陸地方の視察を終へて歸途に就ける京大教授内藤湖南博士及び稻葉君山氏は十九日夜南大門驛著列車にて入京二十日夜行を以て直ちに歸路を急ぐ筈

市川參謀長出張

軍司令部參謀長市川堅太郎少將は軍參謀大塚少佐を隨へ二十日朝龍山出

藤川長官退京

平北道長官藤川利三郎氏は事務打合せの爲め入京中なりしが十九日夜南大門發列車にて歸任の途に就けり

李堈公張宴

李堈公殿下は山縣政務總監松川軍司令官古海警務總長其他朝鮮貴族等を十七日午後七時朝鮮ホテルに招待し晚餐會を開催せり

米大使館書記官

今回在北京米國公使館一等書記官より在東京同國大使館へ轉任せるマクマレー氏は赴任の途次十八日夕南大門驛著列車にて入京せしが十九日は滯在市中の視察を爲し二十日出發東上の筈

度支部長官代理

鈴木度支部長官東上に就き不在中有賀理財課長之を代理することとなれり

官邸百種

大隈侯が去る十六日早稻田校友會で開いた老侯の祝賀宴の席上でやつた挨拶は相も變らず老侯式を發揮して居るが其の中に具渡妙な意味を云へば[illegible]かしいが何でたく妙な口吻を漏らして居る▲即ち斯る盛大な賀筵を開かるゝは命長ければ恥多しといふ[illegible]分は百五十歲迄生きるから未だ四十五年の前途を有して居る▲が人生に於て死は免る可からざるものである▲人間の定命を信ずる[illegible]唯精神あるのみだ人間に於ては國家に於ても生存に最も必要なのは抵抗力である▲自分は病後大に感ずる所あり其の所感を或る機會に於て公表せんと思つたが此の機會に於て一言すべし▲予は最近自ら老人と言つた事はなく何時も吾輩で通して來たが今後は吾輩を改めて老生と云ふ事にした▲即ち八十を一期として老境に入るのであるから之に次ぐものは老衰期として死である▲唯妓に血氣に富める一萬の校友諸君あり老生亦た大に努むべしと雖も今後は大に諸君の働きに待たねばならぬ▲といふので聽き樣に依ては老侯引退の辭とも聞かれぬ事もないテ▲小太郎望月鶯溪君例に依り亞米利加からお土産の作に曰く『ナイヤガラ瀑布に遊ぶ』と題して▲『天下偉觀萬水宗。壯遊到此豁心胸。尙余多恨青春淚。灑上征衣尋舊蹤』

『隔海兩邦望太平。日米國交を詠じて照來肝膽誓神明。托君欲語前途事。太似才人迎婿情』最後に『好全使命客懷寬。爲里江山入壯觀。遮莫家鄕頻屈指。風帆一路祈平安』

送石塚總裁東歸　此經　長山
昨送饋南今杏村。漢山雪黑月黃昏。兩胸離恨消盡。枉向樽前托酒樽。

哈市財界近況

十一月中に於ける哈爾賓財界の狀[illegible]

▲閑散を呈し 從つて金融界も亦例年に比し頗る緩漫の狀態に[illegible]

支那商側に於ては去月來既に松花江の航運杜絶せるに不拘陸路は未だ完全なる結氷を見るに至らず江[illegible]

▲紊亂を極め たる爲め何れも戰々兢々として尠からざる不安の念を與へたるに依り小口取引[illegible]を爲したる向も少からず商況全く休絶の狀態にして旁々一般に輸入手形の決濟は澁滯勝なりき次に輸[illegible]引受渡用品にして各大商店共

▲貨車配給の 見込附かざると近く實施せらる可き東清鐵道[illegible]

起せず例年八九月の交盛んに行はるゝ背田貸の如きは更になく僅かに地方問屋と當地支[illegible]狀況を聞くに[illegible]

八日までに竣工すべき全北管内各地に於ける堰堤及び洑修築工事の狀況を聞くに全州郡五箇所金山[illegible]三十二圓九十錢なりと

◎鱈盛漁期に入る

鎭海灣内の鱈漁は愈々昨今盛漁期に入り[illegible]多く生魚のまゝ進永、三浪津、大邱方面へ移出せらるゝもの尠なからざるが開鑿としての各地註文も[illegible]

◀歳暮大賣出し▶

十五日より卅一日

日の丸小間物店

京城本町二丁目
電話千九百二十番

福引景品附
金壹圓毎に差上可申候

寫眞
寫眞銅版　亞鉛版
京城日出町　寫眞製版部

大正七年 米之指針 大阪今延仲買店第二週年記念號
右期米取引ニ趣味ヲ有スル人士ニ無代配付ス
今延仲買店

廣告
來る大正七年一月一日新年祝賀の爲め名刺交換會を開催し以て往客の禮に代へむとす御賛同の諸彦は左記事項御承知の上會費金五十錢を添へ京城府庶務係へ申込まれ度し
大正六年十二月十九日
戊午元旦京城名刺交換會發起者
原田金之祐
金谷充
記
一　會場　南大門公立尋常小學校
一　日時　大正七年一月一日午前十一時
一　申込者は名刺調製上必要あるに付住所職業（在勤先）氏名原籍（府縣のみ）を記入すること
一　申込期限　大正六年十二月二十四日限り、期限經過後は申込を謝絕す

明治屋へ　明治屋へ
例年の通り來る拾五日より歳暮並にクリスマスの御贈答品陳列左記の景品附賣出し仕候
（御買上金額一口金壹圓毎に籤壹本）
壹等　女持金側時計　六等　鳳凰印ミルク
貳等　勸業債券　七等　觀覧券
參等　吳服券　八等　洋菓子小函入
四等　甘味葡萄酒　九等　郵便端書
五等　月桂冠　十等　ライオン齒磨

營業品目
キリンビール　壹打半打　化粧函詰
洋酒　罐詰　函詰
洋菓子　折詰　罐詰
洋風生菓子　各種
各地名産珍菓　各種
葉卷　紙卷煙草
商品切手

弊店發行の商品切手は左記の本支店共通に相成居候に付何れの店にても御不便無く御引換可申候
東京。横濱。名古屋。京都。金澤。大阪。神戸。門司
京城本町一丁目
明治屋京城支店
電話（二一二七二二番）

[illegible]不如意治安の紊亂等幾多の大打撃を蒙りたる爲め其の商況は輸出入共に殆んど休絶の姿にて實に前例なき[illegible]來引續き露貨大崩落の加ふるに露國貨物輸入禁止令の實施となり奧地露人方面に對する各種輸入品取引は茲に愈休止の姿を呈し他面杜絶を來たし加ふるに一張一弛全然氣迷の裡に彷徨せる露貨は何時如何なる激變を見るかも計られずその變と市內の秩序益々[illegible]日の商談更に起らず邦人綿絲布商の如き手持品の處分には頗る苦心を要せしもの、如く南滿へ逆送[illegible]の內地向豆粕輸出ありたるも之を例年に比する時は殆んど云ふに足らず新穀は漸々出廻り始めたれども多くは常地根棧筋の定期取[illegible]運賃の五倍値上等の關係よりして內地向け搗出合す何れも將來を悲觀して買入を手控へ居るの狀態にあり此の方面更に資金の需要を喚[illegible]數十臺の來著ある如し

●全北堰堤工事狀況

十二月二十五日以降より十二月二十[illegible]南原郡五箇所任實郡一箇所高敞郡十一箇所扶安郡五箇所金堤郡十一箇所金山郡二箇所沃溝郡三箇所計五十箇所工事費計一萬六千四百[illegible]

[illegible]少きも二三千尾を下らざるの好況にして價額の如きも一尾十五六錢に低下せるを以て鮮人側の需要[illegible]

●果してタチアナ姫か

▲又も東京に現はるこの噂

◇二名の紳士に伴はれて一等車內に異彩を放つ◇

露國廢帝第二皇女タチアナ姫(二〇)はピエーアールドテエフエフと名乘り父と稱するピーロー伯(陸軍大佐)及び支配人と稱する紳士一名に伴はれ十九日朝七時三十一分下關より神戶に著し同四十分東京に向へり姫は赤の洋裝に黑のコートを著け一等車內にて一異彩を放てり其筋の警戒嚴重なり(東京特電)

▼噓とも言へぬ 興味ある問題

右に就き某露國通は斯う語る『曩に東京を騷がした男裝のタチアナ姫は羅馬尼の美人と判つて飛んだ笑ひの種を蒔いたが、今度の東京出現說が若し事實とすれば全く意外と言はねばならぬ、御承知の通りニコラス

▲廢帝の一族 はペトログラードから數千里を距つた西比利亞の中央、トボリスクの修道院に幽閉されて居る、トボリスクと云ふのは西比利亞鐵道のオムスク驛の北方である、若し此のトボリスクから姫が逃れ出るとすれば何うしても

▲支那の國境 へと出ねばなるまい、所が西比利亞の寒氣は大したもので今や外出など出來ぬ程である、殊に警固が嚴重だからかよわき姫の身分を以つてしては如何にするも此の修道院から逃れ出ることは

▲難中の難事 と言はねばならぬ、斯う云ふ譯で姫の東京出現說は此の簡單な電文のみでは容易に信ずる事が出來ぬが又全然噓だと云ふ事も斷定出來ない、唯、興味ある問題として暫く後報を待つ事としやう』

●輸移入品が增加した

貿易統計から見た年末の景氣

歲末市況は近年にない好況で何處へ行つても人氣が沸騰して居るが稅關の貿易統計から觀た年末の景氣は世間で騷ぐ程に大したものではないらしい京城稅關出張所長黑部寅一氏曰く『年末の貿易況は未だ數字の上に現はす事は出來ぬが

▲相場の變動 から註文を手控へて居つたのと、內鮮各地滯貨の結果一般貨物の輸送が遲れた爲めなど種々の原因から年末に近づくに從つて輸移入品が一時に多くなつて來た模樣である八月以來の統計では八月が百六十五萬圓九月が百六十三萬圓十月が百五十三萬圓十一月が二百十萬圓十二月はもつと增加する見込みで此れを

▼昨年に比較 すると八九十一の各月は何れも三十萬圓以上の增加を示して居る然し市價の變動が激しいから價格が增加しても直ちに市況の殷盛を證する事は出來ぬ實際の景況を觀るには何しても數量に依らねばならぬが二三重要輸移入品にしても、生シーチングの如きは昨年十月の輸移入額十六萬三千圓に對し本年十月は三十四萬圓其差は約十七萬七千に達して居るが數量は百十二萬碼に對し百三十二萬碼であるから僅々

▽二十萬碼の 增に過ぎぬ砂糖綿絲布等も又その通りで稅關の統計は聊かに價格は增加して居るが數量に於ては大差無いことを語つて居る從つて需要者の購買力なるものが世間の騷ぐ程に盛んなものであるか何うかは疑問であらねばならぬ只本年特別の現象としては鐵道及び船舶等が滯貨の爲めに大貨物の輸送困難となり其結果として

▽小包郵便物が 增加し 十一月の如き三十三萬圓に達し昨年よりも約十七萬圓計り增加してゐる

●驚くべき大彗星

近く現はれん

先年現はれたハレー彗星は[illegible]代天文學者の望遠鏡に這入つたことのない素晴らしく大きな彗星が近々出現すると言ふ

◆豫測をした のは獨逸の天文學者ウルフ博士である、此の彗星は昨今太陽に向つて一日約百十三萬四千二百四十六哩といふ速力で突進しつゝあるから此の冬中には現はれ來年六月から[illegible]一層大きく瞭然と見ゐるだらうとの事だ、此の新星の大きさは明治四十三年四月頃日本に來たハレー彗星は八箇月前に望遠鏡に映つたが今度のは

◆十四箇月も 前に見ゐて來たと言ふから此の新來の珍客は何の位大きな圖體をしてゐるかと想像される共して此の星は發見者に因んでウルフ彗星と名づけらるゝと言ふ事である。

●三年間藥と土を弄くつて

探鐵研究を遂げた平山藥學博士

今度の採鐵研究に對する平山博士の努力は實に驚くばかりであつた前後三年間博士は職務の餘暇に只管研究を續け或る時は夜の一時二時迄又或る時は徹宵藥と土を弄くつて夜の明けるのも知らずにゐた事があるそして最初の間は幾度か失敗に終りさしもの博士も天を仰いで嘆聲を漏し其研究を放擲しようとしたことも二度や三度で無かつたが遂に完成するに至つたのである博士は實に稀に見る人で有益なる發明物は殆んど枚擧に遑が無い程である今度の發明も博士は決して自己の名譽とか利益とか云ふやうなことを念頭に置かず只國家を想ふ愛國心の結晶より出たのである(大阪)

●巨艦伊勢受領式の光景

神戶川崎造船所にて艤裝を急ぎつゝありし軍艦伊勢(三萬千二百六十噸)は既電の如く愈々艤裝を終り十五日川崎造船所より海軍省に引渡す事となり午前九時より其受領式並に軍艦旗揭揚式を擧行されたり當日の模樣を記さんに先づ伊勢の造艦監督海軍武官並に川崎造船所副社長職工等は禮裝して伊勢に乘艦するや秋澤艦長加藤副長以下通常禮服にて受領式場たる艦尾上甲板に整列し十時より式に移り川崎副社長は謹嚴なる態度を以て本艦は大正四年五月起工を起し[illegible]日子を經て

◇茲に無事艤裝 を了へ海軍の手に引渡すを得たるは[illegible]する處なりと云ふ意味の挨拶を爲し秋澤艦長は確かに受領す此の旨を本省に打電すべしと[illegible]の答辭あり[illegible]同十時五分[illegible]

◇莊嚴の光景は [illegible]海軍旗は徐々に旗柱に[illegible]觀者を緊張せしめたり[illegible]艦長の發聲にて萬歲を三唱し全員の[illegible]次で艦長は上甲板に在りて勅語を奉讀し引續き一場の訓示をなし全く式を終り一同は機關室に集合して祝盃を擧げ散會したり因に同艦は二十一日神戶出港吳に回航の豫定なり(大阪)

◎難破して凍死

京畿道金浦郡霞城面後坪里船夫金昌[illegible](二二)相泳澤(二二)の兩名は本月五日頃帆船にて京城に來り九日生石灰を積み込み漢江を下航し歸途に就きたるに同夜風浪に襲はれて難破して金昌は行衛不明となり相泳澤は帆柱の下に凍死して漂流し居るを十日午後高陽郡中面[illegible]里の漢江中にて發見せり

◎八年目に捕縛 殺人放火强盜

明治四十三年十一月初旬平南江西郡斧山面新美里朴鳳吉方に兇器携帶にて押入り同人を殺害し金品を强奪したる上己が罪跡を隱蔽せんが爲め放火し同家外二戶を全燒せしめ其儘姿を晦したる大賊あり當時官憲にて取調べしも犯人は容易に判明せざりしが苦心嚴探せしに八年を經過したる本年十二月十七日に至り江西郡里臺面馬山洞にて居住をなし居れる自稱朴一文事朴在憲(五七)が眞犯人なることを突き止め遂に逮捕されたり(平壤)

●一萬五千圓を

▼電報で詐取せんとす

十二月十五日午後平壤郵便局に至り鹿兒島縣川內居住上野喜左衛門に宛て同人の女婿慶田正明の名義にて金一萬五千圓の送金方を打電せる曲者あり同電報を接手せる先方にては折返し念の爲め事實の調査方を平壤警察署に電報にて依賴し來れり依つて平壤署にて密かに調査中曲者は平壤櫻町居住大工職自稱田中一夫(二〇)の行爲と判明し同人が屢々郵便局に向け電話にて爲替の到著を問合せ來るを探知したる刑事は先づ局員をして電話を以つて爲替の到著せる旨を告げしめ置き同人指定の場所に郵便配達夫同道にて刑事が逮捕に向ひたるに早くも氣付ける一夫は直ちに同所を逃走行方を晦ませるが全市に非常線を張り嚴戒を極めたるため遂に十七日午後二時停車場にて逮捕されたり(平壤)

◆足袋を花の名で 註文する上流社會

[illegible]

◎大仕掛の詐欺

廣島市樂研堀町生れの三好彌太郞(三一)が李王世子及び梨本宮女王殿下の肖像を印刷したる出版物を種に京城黃金町一丁目に大日本皇道會朝鮮總務局と稱する招牌を揭げて外七名の內鮮人を手先に使ひ各道に支部を設置し其の支部長任命の身元保證金名義にて忠南芙蓉郡主山面加德里吳然大外數名より一千九百圓を詐取したる事發覺し本町警察署にて取調べの上檢事局へ送られたり

◎雜貨二千餘圓流失

黃海道安岳郡東倉浦金泰亨は鎭南浦にて雜貨を仕入れ一名の船夫に托して二十石積みの帆船にて鎭南浦より東倉浦に向け滿潮時を利用し大同江を遡航中十二月八日午前四時頃同郡安谷面目上里浮石浦の漢江岸にて俄かに風浪に襲はれ岩角に衝突して難破沈沒せしが船夫は幸くも避難上陸せり船體の損害四十圓雜貨は悉く流失し二千六百餘圓の損害を蒙りたり

◎三十三棟燒失

島根縣簸川郡西濱村に十八日夜火災あり三十三棟燒失せり(大阪特電)

◎普通學校の火事

平北龍川郡邑東面西部洞所在龍川公立普通學校は煙突の飛火より十二月十二日午後八時頃發火し朝鮮式瓦建ての校舍一棟を半燒して同十時頃鎭火せり損害約三百圓なり

◎子爵邸の火事

十八日午後六時五十八分頃京城玉仁洞子爵尹德榮氏方構內下人部屋の溫突焚口より出火天井に延燒したるを家人等が消止めたり損害僅少

◎阿片煙密輸入

咸南洪原郡[illegible]浦洞長[illegible]里雜貨商金雲集(三四)は[illegible]の前科者なるが本年[illegible]頃[illegible]の目的にて阿片煙四百匁を金七十三圓にて買入れ漁船小角にて新浦に上陸密輸入し九月十三日午後七時頃咸興郡西面西上里支那人劉忠一方にて支那人丁[illegible]劉忠一兩名に前記品を百二十圓に賣却したる支那人兩名は內[illegible]百匁を元山龍[illegible]支那人鄭氏に賣却方依賴し居れる

◎新年名刺交換會 南大門小學校にて

來る戊午元旦に於ける名刺交換會は例年の通り原田金之祐氏金谷充氏に由りて發起せられ南大門尋常小學校前庭に於て當日午前十一時より開催する事に決定したり賛成者は名簿調製上の必要あるに付來る二十四日限り住所職業氏名等を記入して申込まるべく但し會費は五十錢にして發起人側は成るべく大多數者の賛同を希望し居れり

◎飛び降り

十九日午後七時半頃京城電氣會社の六十四號電車が驛前にて停車せんとする以前に乘客なる高陽郡延禧面[illegible]里朴學[illegible](五一)が飛降りをなし輕傷を負ひ

◎火傷をしたら 素人の應急手當法

總督府醫院醫官 植村俊二氏談

新龍山小學校生徒の燒死に就き總督府醫院植村醫官の火傷の場合に於ける素人の應急手當法を聽いた

一口に云へば大人でも小兒でも著物の上から火傷をしたら手早く濡れた布帛で局部を掩ひ被ぶせて空氣を遮ぎり直ちに醫師の應急手當を乞ふべきである。何しろ

▽手遲れに なつては龍山小學校の少年の樣に彼んな悲慘な目に遇ふから、萬一那んな場合があつたとすれば直ちに有合せの毛布なり大風呂敷を被ぶせて了つて動かない樣にし其の毛布なり風呂敷なりを水で濡らすに限るのである。何しろ全身の皮膚を半分以上も燒くと汗の

▽分泌作用 を停めて了ふ時は溫の調節を失ひ且つ血球を溶解せしむるから皮膚の生理的作用を不能ならしむる爲め心臟が遽かに衰弱して遂に死亡するに至るのである故に醫師としては局部には皮膚の乾くのを防ぐ爲めに食鹽水を浸したガーゼを當てるとか又は殺菌消毒した脂肪を塗り附けるのである、さうすれば痛みが薄らか

▽緩和され て患者の苦痛は幾分か輕らぐ譯である、但し火傷には輕重の度合があつて醫師は第一第二第三に區別するが第一度は皮膚が赤く腫れて所謂る火脹れ[illegible]第三度は火傷が皮下の組織にまで及ぶ場合、第三度は火傷が皮下の組織にまで及ぶのである。併し單に第一第二度の火傷といふも局部によりて第一第二第三の場合を諸所に兼ねた負傷がある。併し最初

▽素人目で 見て左程でもないと思ふ火傷が醫師の手當を受けて居る中ら段々惡くなる事がある之は何も其の醫師が惡いのではなく『壞死』と云つて或る分界線を劃して其の部分に當る健康の皮膚が脫離れて行くのであるから、例令外見は何うあらうとも大きい火傷なればモノの一週間乃至十日間位は其の經過を待たねばならぬ。

うわさのうわさ

▲廢業した喜久家の女將を某紳士さんが南大門驛で落合つた時某紳士が水稼業を廢めても妄念は殘らぬかと揶揄ば▲未練なんか未塵ほどもありませんまあ此れを見て下さいと言つて出したのが廢業の日に讀んだと言ふ『罪も消ねをのが務も半ば濟み今日一日の務なりけり』▲又曰く『念の殘る之病、續けざる此藥』此れで見ると妙心寺邊にでも參禪してゐるのか知らんテ▲釜山の名物男元よか樓の親爺の井上九一郞は著物から住宅に至るまで全部朱塗りづくめ赤いものづくめにして隨分人目を惹いて居たが二三日前腎臟病で遂ひに死亡したさうだ名物男の一人を喪つた釜山も當分寂寥を感ずるだらうとの事

掉尾の活動!!

歲末大賣出開催廿日より卅一日迄

既成品全部五分引▲▲▲▲▲▲提供

常に好評を博せる弊店特製既成品は更に多數出來仕り候

歲末に際し平素の御愛顧に酬ゆる爲め絕體忠實なる正價に對し更に五分割の特價を以て提供可申候陸海軍御用命希上候

トンビ＝霜降メルトン。スコッチ。ラクダ裏アルパカ又はカイキ＝二十二圓＝廿七圓＝卅一圓＝其他各種

ヲバーコウト＝色スコッチ。縞スコッチ。色メルトン裏アルパカ。朱子地＝十七圓＝廿二圓＝廿七圓＝其他各種

將校マント＝黑ラシヤ。黑メルトン等＝廿五圓＝廿圓＝十五圓 其他各種

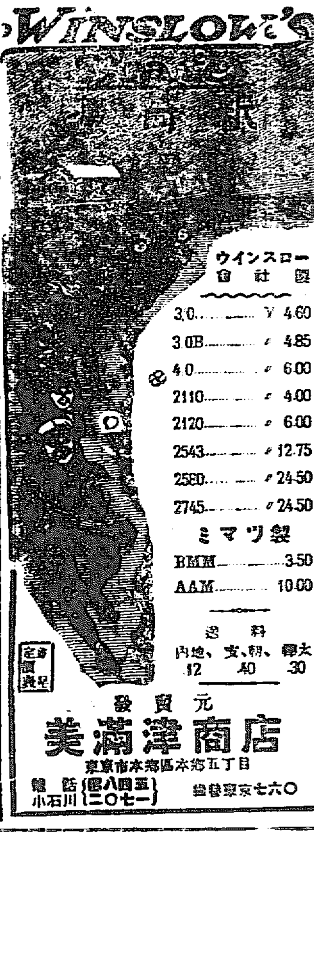
小兒マント＝男兒用…黑ラシヤ…黑メルトン…裏赤ネル或は朱子丈尺八寸より三尺迄價格六圓より十圓迄各種 …女兒用…縞メルトン縞スコッチ裏赤ネル又は朱子丈尺八寸より三尺迄價格七圓より十一圓迄

小學生諸君には 粗景進星

京城南大門通二丁目

丁子屋洋服店 既成部

電話二二三〇。二二二〇。六九〇



發賣元 美滿津商店

東京市本鄕區本鄕五丁目

電話小石川{八四五 二〇一七} 振替東京七六〇

純金指環御安致升

朝鮮の一等職工が製作致候 獨逸形、丁形、四角形、小判形、純金前記印台に付[illegible]

責任 保證

京城南大門通一丁目 友助堂時計舖 電話一九七七番 振替一八九五番

代金引替の御注文に應じ候

歲暮賣出し

新菓茶入羊羹 京都鶴屋堂製

梅ヶ香新荷著

京城明治町二丁目 宇治屋茶舖 電話四一二番

本場みかん賣出し ネーブル、梨、ハツキミカン多數あり

□御進物御贈答には紀州本場みかんに限る

來る十九日[illegible]一箱賣と雖も卸賣同樣に提供可致候但五箱以下配達御斷り

京城南米倉町市場

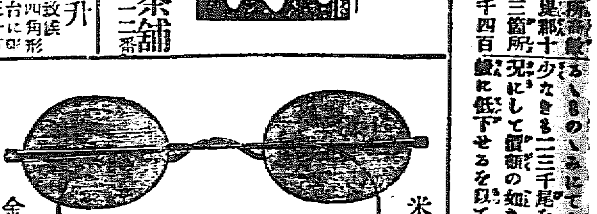
露國、生絲、雜穀、果實、海產物 紀州密柑京城販賣所

岩城貿易商會

電話八四二番 振替京城一〇〇六番

急告

米國製 金張眼鏡



歲末大賣出として地方御注文に對しては本年中は純金製品外の品に限り定價表より一割引にて販賣仕候

[illegible]

京城本町一丁目(郵便局横) 中村眼鏡店

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第百一回 恩と仇(二)

采女は非番で奥の間へ行つて見た、すると御我が神棚の下に坐つて、一心に祈禱を上げて居る

それを驚かすは心無いと思ふので、采女は次の間に立つた、お我が平伏して掻き口説く詞の端が、次々に聞こえて來る

『お願ひ申します、何卒良人の武運をお守り下さいまし、一日も早く初瀬どのに邂逅つて、本意を遂げられるよう御利益を下さいまし、お道中が餘り長くなりますと、お首尾も宜しかるまいと存じますから、その代り、わたくしの一身は何のようになつても關ひません、御所に一命を召されても、お恨みには思ひません、どうぞ良人に本意を遂げさせて下さいまし、初瀬どの行方をお知らせ下さいまし』

聞う云ふ聲が腹の底を出る、巽直に神棚へ走つて、そこから四方へ散り亂れる、それが采女の耳へ届く時は、一種の悲調を帶んで來る、采女はそのまゝ村平の部屋へ走つた

『君様、そのお顏の色は何でござります、何處かお惡いのぢやござりませんか』

村平は一目見るとさう云つた、采女は詞も無く上へ昇つて、村平の前に無手と坐つた

『何うしやう〳〵』

『何うなされたのでござります』

『わしは初瀬どのに恩がある』

『仰せまでござりません、若様が斯うして御殿へお仕へになりますのは初瀬殿のお蔭でござります』

『その初瀬どのが白刃の下に立つてお在でぢや』

『いゝえ、お免れなされたのぢやござりませんか』

『お行方は知れぬ、然し、お命が助かつた理ではない、助左衛門殿が殺刃を研いで、すぐ後をお追ひなされた』

村平は默つて考へた

『助左衛門殿は御家中でも雄夫と聞えた御手練、初瀬殿は必ず腕を折られる御手筈、據むや、何とぞ互角の勝負がならう』

『御有理でござります』

『今日にでも、明日にでも、乃至は五日過ぎ、十日過ぎにでも、助左衛門殿にお逢ひなされたときが、初瀬殿お命の絶ゆるときぢや、助左衛門殿の失策に、初瀬殿のお首が貫かれると、助左衛門殿の意地が立つ』

『お武家の意地ほど強い者はござりません』

『今見ると、叔母様が命懸の御祈禱を上げてお在でぢや、おのれの一命を犠牲にして、助左衛門殿の大望成就を祈つてお出でぢや』

『そこに御夫婦の御眞情がござりまするな』

采女は戰慄するほど感じて

『村平、わしは初瀬殿を見殺しにして好いであらうか』

『見殺しを遊ばす理ぢやござりません、初瀬殿の生死は、初瀬殿の御運次第でござりませんか』

『わしは初瀬殿に恩がある』

『然し、若様には若様のお望みがあるぢやござりませんか』

『恩を捨て、好いであらうか』

『恩は大事でござります、捨て…』

『好い理はござりません』

『わしは初瀬殿に助太刀がしたいと思ふ』

『ねこ』と村平は驚いた『若様、何んと御意遊ばします』

『恩を忘れては人でない、わしは武士ぢや』

『さりとて御一代の大望を本捨てなされて、今さら御當所をお立ち退き遊ばすことは務まらぬ義理ぢやござりませんか』

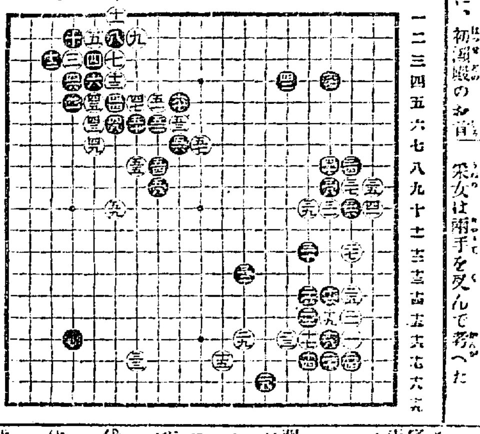
采女は兩手を叉んで考へた

圍碁手合

十番碁 第二局の三

三段 山平壽氏 二子 大久保雅彥氏

白ロの(四十一)より黒ルの五(六十)手迄



砂糖 五斤入 七斤入 十斤入 廿斤入

お歳暮贈答品は何がよいか思案召さるな 千利堂菓子舗

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇九六番

石炭 各種 京城太平通二丁目 西崎商會 電話七二七番

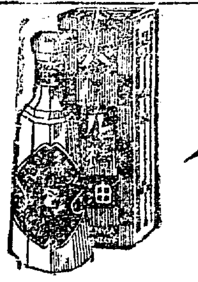
京日案内

恩給年金立替 恩給年金立替 新古ミシン賣買 國江商會 丸五商會 西村商會 商品切手 杉本商會 魔法瓶 江州屋本店 年金恩給 旅行用具 山口屋 清酒白丁 大同保險 給仕採用

ヨードカリウム丸

ゴノレヤ

龍山 林藥房 山岸天佑堂 大黒南海堂 森田草樂堂



パール
パール椿油
礦物を加合せず化粧化學を應用し香氣高雅として養毛に適したる純植物製…パール椿油
パール煉香油
パールポマード
日本内地は勿論海外各地に巨多の愛用者を有し昨今殊に海外の輸出多大に…
本品需要の激増は數十年の經驗と品質の…
パール製造元 平尾贊平商店
大阪 平尾レート

最新刊

歩兵 直 結婚 死と死 坊ちやん 徳山 小説 激石俳句集 人之心 …

大正七年 國民日記

内容の改善面目の一新記載事項と趣味の豐富體裁の清雅印刷の鮮明真に代表的模範日記にして頗る好評殘部僅かとなれり此の際至急御注文ありたし

定價 五拾五錢 郵税八錢

朝鮮發賣元 京城日報社代理部

取次販賣 京日支局 大阪屋號 嚴松堂 日韓書房 ウツボヤ書店

健胃消化新劑

胃病によく効く

ゴルフ

高峰博士發見ノ有名ナル消化劑タカヂアスターゼヲ主藥トシ他ノ貴重胃藥數種ヲ配合ス

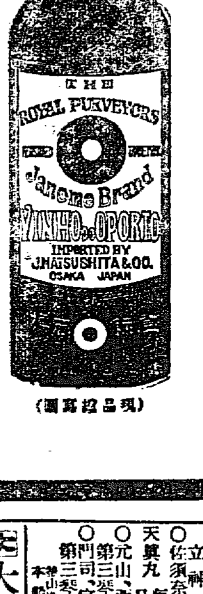
定價 四十錠入 金武拾錢 百錠入 金四拾錢 三百錠入 金壹圓

發賣元 東京市日本橋區室町三丁目十番地 三共製藥株式會社

登錄商標

滋養強壯 芳香美味

蛇の目印 ポートワイン



本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血強壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を強くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養強壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元 洋酒 食料品 鑵詰 直輸出入商 煉乳 家庭藥 雜貨

大阪市東區高麗橋貳丁目 松下善四郎

電話本局 一八五 長一八六 長八二〇 電信略號 マツセ 振替口座大阪 一六

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆
神戸、大阪行 瀛洲丸 十二月廿五日午前九時出
木浦、釜山、濟原、鳥ノ浦、長崎行 安東丸 十二月廿五日午前二時出
安東丸 一月八日 午前二時出
鎮南浦、大連行 安東丸 十二月廿日 午前二時出
大連直航 安東丸 一月四日 正午出

元山出帆
西湖津、新浦、城津、清津行 安平丸 十二月十六日後十一時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 十二月廿二日後九時出

大連出帆
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月卅一日前六時出

内地各港出帆主要航路
南米行 一年四回
北米行 毎月一回
濠洲行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回

大阪商船株式會社仁川支店 京城切符發賣所 仁川京城通り切符發賣所

朝鮮郵船株式會社 釜山出帆廣告
立神丸 十二月十三日後五時出 和歌浦、大阪行
立神丸 十二月二十日後五時出
元山、清津、浦鹽行
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天興丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日
門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出
本社 釜山港堺町 大池回漕部

三共同汽船出帆
一共同丸 十二月二十日 仁川代理店 野口商會 本町四丁目(電話一七三番) 元山代理店 京城取次店

尼崎汽船部出帆
釜山、木浦、群山行 秀吉丸 大有丸 赤城丸 君が代丸

日本郵船出帆
大連行 相模丸 竹島丸 淡路丸

京城自動車發着時刻

品の道しるべ

大阪株式時電
大阪期米